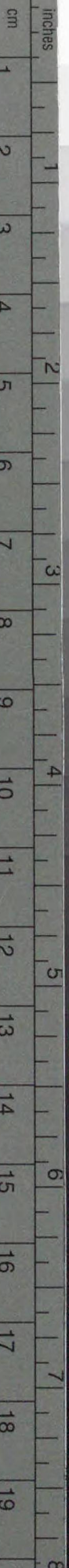


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

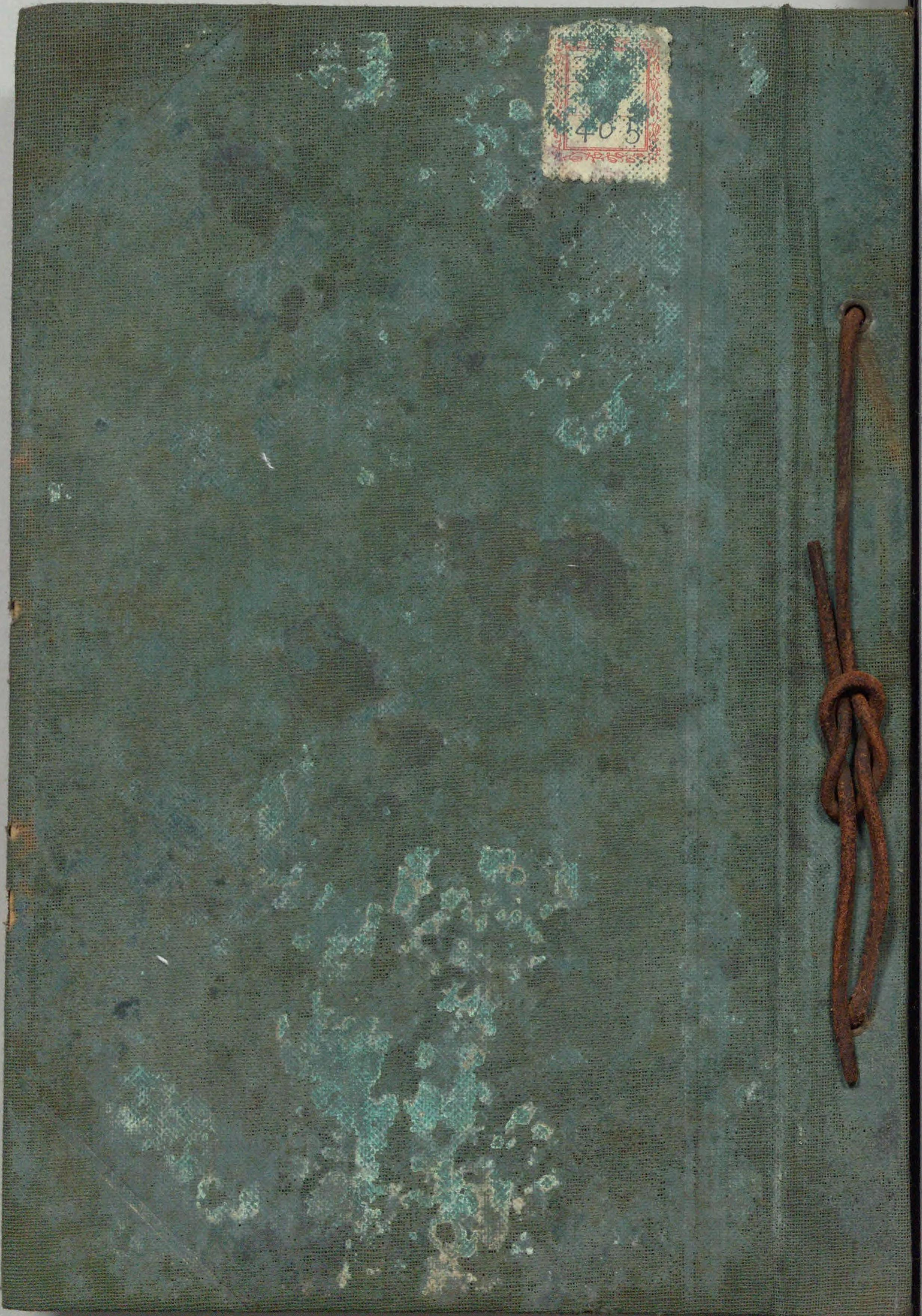
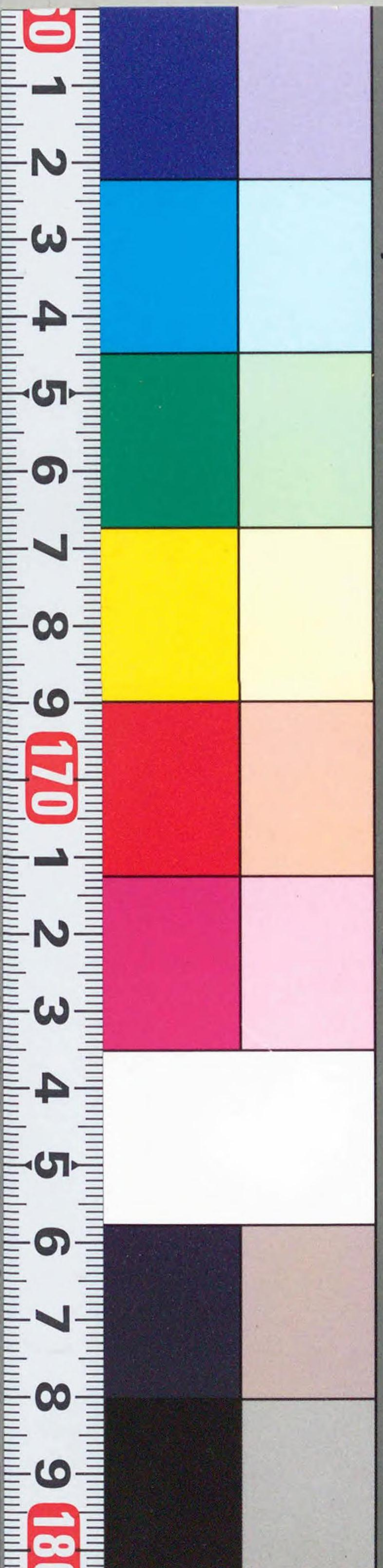
A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



在自除加

書全法令行現

第一類	憲法 議會	第八類	稅制 專賣
第二類	官制 官規	第九類	土地 治水
第三類	裁判 監獄	第十類	警察 衛生
第四類	民事	第十一類	社會施設 宗教
第五類	商事	第十二類	學事 兵事
第六類	刑事	第十三類	產業 移民
第七類	地方制度 財務	第十四類	交通 電氣及瓦斯
		第十五類	統計 報告

法令普及會編纂

加除
在現
行法令全書

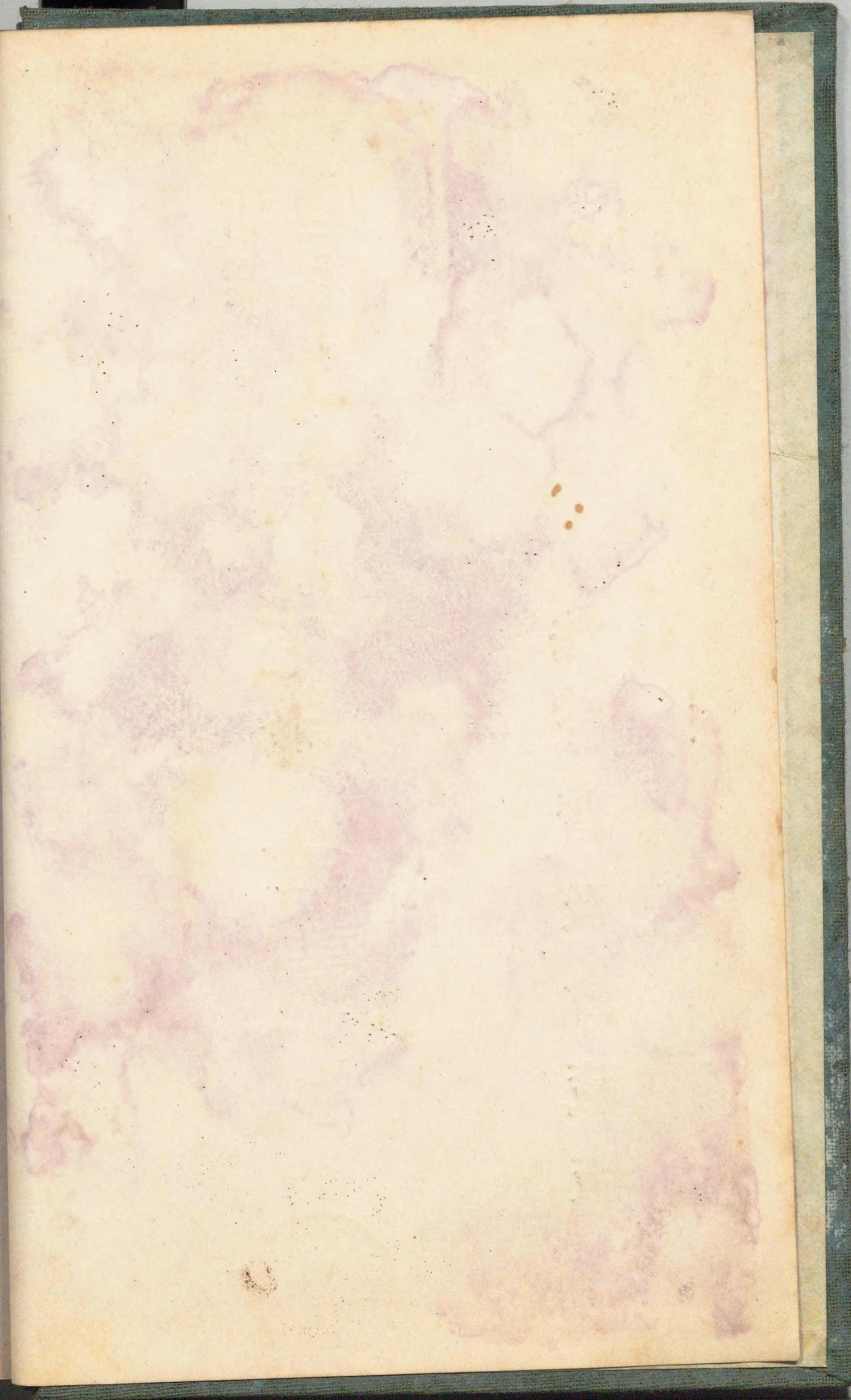


92

法令普及會藏版



第七類 地方制度財務



第七類 地方制度、財務

第一編 地方制度

第一章 市町村制度

明治四四年四月法律第六八號	●市制	一
明治四四年四月法律第六九號	●町村制	三
明治四四年九月勅令第二四三號	●市制町村制ノ施行ニ關スル件	六
大正一五年六月勅令第二〇一號	●市制町村制施行令	六
大正一五年六月內務省令第一九號	●市制町村制施行規則	八
大正一五年六月勅令第二一〇號	●市制町村制改正經過規程	一四
大正一五年六月勅令第二〇九號	●町村制暫行特例	一四
大正一五年六月內務省令第二二號	●市制町村制中改正附則及市制町村制施行令附則ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件	一四

第二章 府縣制度

明治三二年三月法律第六四號	●府縣制	一四
大正一五年六月勅令第二〇〇號	●府縣制施行令	一七
大正一五年六月內務省令第一八號	●府縣制施行規則	一七
大正一五年六月勅令第二〇四號	●府縣制暫行特例	一八
大正一五年六月勅令第二〇五號	●府縣制改正經過規程	一八

大正一五年八月内務省令第三九號 ●府縣制中改正法律附則第三項ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件……………103
 大正一〇年四月法律第六三號 ●郡制廢止ニ關スル件……………104
 大正一一年一月勅令第五〇二號 ●郡制廢止ニ關スル件……………104
 (注意) 以下追録ヲ以テ登載ス

第七類 地方制度、財務

第一編 地方制度

第一章 市町村制度

●市制

(明治四十四年四月七日)總、内、副署
法律第六十八號大、臣

沿革 大正一〇年四月法律第五八號、一一年四月第五六號、一五
年六月第七四號改正
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル市制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

市制 第一章 總則

第一款 市及其ノ區域

第二款 市住民及其ノ權利義務

第三款 市條例及市規則

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

第二款 職務權限

第四章 市吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第五章 給料及給與

第六章 市ノ財務

第一款 財產營造物及市稅

第二款 歲入出豫算及決算

第七章 市ノ一部ノ事務

第八章 市町村組合

第九章 市ノ監督

第十章 雜則

市制

第一章 總則

第一款 市及其ノ區域

第一條 市ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其
ノ公共事務並從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依
リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 市ノ廢置分合ヲ爲サムトスルトキハ關係アル市町村
會及府縣參事會ノ意見ヲ徵シテ内務大臣之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町

村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第四條 市ノ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ市ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ財産アルトキ其ノ處分ニ關シテハ前條第二項ノ例ニ依ル

第五條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル市町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係市町村ニ交付スヘシ

第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 勅令ヲ以テ指定スル市ノ區ハ之ヲ法人トス其ノ財産及營造物ニ關スル事務其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區ノ廢置分合又ハ境界變更其ノ他區ノ境界ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス但シ第四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

市ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

第十條 市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ市ノ名譽職ニ選舉セララル權利ヲ有シ市ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市ハ一年以上四年以下其ノ市公民權ヲ停止スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ市内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡六十一年以上ノ者

四 官公職ノ爲市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職市吏員、名譽職參事會員、市會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他市會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

ハ關係アル市會ノ意見ヲモ徵スヘシ

第七條 市ハ其ノ名稱ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 市住民及其ノ權利義務

第八條 市内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ市住民トス

市住民ハ本法ニ從ヒ市ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ市ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第九條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來市住民タル者ハ其ノ市公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セサル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ市ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第三款 市條例及市規則

第十二條 市ハ市住民ノ權利義務又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ設クルコトヲ得

市ハ市ノ營造物ニ關シ市條例ヲ以テ規定スルモノノ外市規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第十三條 市會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

一 人口五萬未滿ノ市 三十人

二 人口五萬以上十五萬未滿ノ市 三十六人

三 人口十五萬以上二十萬未滿ノ市 四十八人

四 人口二十萬以上三十萬未滿ノ市 四十四人

五 人口三十萬以上ノ市

四十八人

人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十萬、人口五十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口二十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ増加ス
議員ノ定數ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 市公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 (削除)

第十六條 市ハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ前項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第六條ノ市ニ於テハ區ヲ以テ選舉區トス其ノ各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム第七十六條又ハ第七十九條第二項ノ規定ニ依リ市公民タル者ニシテ市内ニ住所ヲ有セサル者ニ付テハ市長ハ本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ職權ニ依リ其ノ選舉區ヲ定ムヘシ

被選舉人ハ各選舉區ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

第十七條 特別ノ事情アルトキハ市ハ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十八條 選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス
選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ市ノ市會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十九條 市會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム但シ議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付市長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ議員ハ最モ先ニ議員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ議員ト爲リタル時同シキトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アル場合ニ於テ選舉區アルトキハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區ヲ規定シ市長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル者ノ選舉區ニ議員アリタルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セララル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セララル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

選舉區又ハ其ノ配當議員數ノ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第二十條 市會議員中議員ヲ生シタルトキハ三月以内ニ補闕

選舉ヲ行フヘシ但シ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第三十三條第五項及第六項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

選舉區アル場合ニ於テハ補闕議員ハ前任者ノ選舉セララル選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第二十一條 市長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區アルトキハ選舉區毎ニ之ヲ調製スヘシ

第六條ノ市ニ於テハ市長ハ區長ヲシテ前項ノ例ニ依リ選舉人名簿ヲ調製セシムヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ姓名、住所及生年月日等ヲ記載スヘシ

第二十一條ノ二 市長ハ十一月五日ヨリ十五日間市役所(第六條ノ市ニ於テハ區役所)又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ

選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ

市長ハ縦覽開始ノ日前三日目迄ニ縦覽ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十一條ノ三 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルト

キハ縦覽期間内ニ之ヲ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テ)ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ縦覽期間滿了後三日以内ニ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條ノ四 選舉人名簿ハ十二月二十五日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十二月二十四日迄之ヲ据置クヘシ

前條ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長ハ直ニ之ヲ修正シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ修正セシムヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ
投票分會ヲ設クルトキハ市長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃

毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

第二十一條ノ五 第二十一ノ條三ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

天災事變等ノ爲ニ必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ前二項ノ規定ニ依ル名簿ノ調製、縦覽、確定及異議申立ニ對スル市會ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

市ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ名簿ニ關シ其ノ分合其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 市長ハ選舉ノ期日前七日目（第三十九條ノ二ノ市ニ於テハ二十日目）迄ニ選舉會場（投票分會場ヲ含ム以下之ニ同シ）、投票ノ日時及選舉スヘキ議員數（選舉區アル場合ニ於テハ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員數）ヲ告示スヘシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スヘシ

總選舉ニ於ケル各選舉區ノ投票ハ同日時ニ之ヲ行フ投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ天災事變等ノ爲ニ必要アルトキハ市長ハ其ノ投票ヲ行フヘキ選舉會ヲ行フノ必要アルトキハ市長ハ其ノ投票ヲ行フヘキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ一人一票ニ限ル選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ選舉區アル場合ニ於テ選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第二十五條ノ二 確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票ヲ爲ス

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日目迄ニ之ヲ告示スヘシ

第二十三條 市長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

各選舉區ノ選舉會ハ市長又ハ其ノ指名シタル吏員 第六條ノハ區 選舉長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉區アルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設クヘシ

投票分會ハ市長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スヘシ

第二十四條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

コトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

第二十五條ノ三 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人之ヲ決定ス可同數ナルトキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スヘシ

投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第二十六條 第三十三條若ハ第三十七條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 市長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スヘシ

第二十七條ノ二 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日（投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日）選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投

票人ノ總數トヲ計算スヘシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第二十五條ノ三第
二項及第四項ノ投票ヲ調査スヘシ其ノ投票ノ受理如何ハ選
舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘ
シ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ
天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハサルトキハ市長ハ更ニ
開票ノ期日ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要
スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十七條ノ三 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ
得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條ノ四 特別ノ事情アルトキハ市ハ府縣知事ノ許可
ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設クルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事
項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ
- 二 現ニ市會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共
ニ議員ノ任期間市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ於テ之ヲ
保存スヘシ

第三十二條 當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當
選ノ旨ヲ告知シ(第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知
セシメ)同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投
票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ
報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄
ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ府縣
知事ニ報告スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日
ヨリ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ
告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカ
ヲ市長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ市
長抽籤シテ之ヲ定ム

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケルニ非サ
レハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之
ニ應スヘキ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタ
ルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキ
カヲ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ
在ラス

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

第二十九條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナ
ルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第三十條 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ
以テ當選者トス但シ議員ノ定數(選舉區アル場合ニ於テハ
其ノ選舉區ノ配當議員數)ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ
得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキト
キハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定
ムヘシ

第三十條ノ二 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサ
ルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第三十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記
載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スヘ
シ

各選舉區ノ選舉長ハ選舉錄(第六條ノ市ニ於テハ其ノ寫)ヲ
添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ市長ニ報告スヘシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ
朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票錄ヲ選舉長ニ送致スヘシ

市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付
市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其
ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社
員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ
又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス
法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ル
ニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項又ハ第三項ノ期
限前ニ其ノ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタ
ルモノト看做ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人
ヲ謂フ

第三十三條 當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三
月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ
選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ
在ラス

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 數選舉區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規
定ニ依リ一ノ選舉區ノ當選ニ應シ又ハ抽籤ニ依リ一ノ選
舉區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者ト
ラサルニ至リタルトキ

三 第三十條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 死亡者ナルトキ

五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選舉又ハ補選ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ事由前條第二項、第三項若ハ第五項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

第二項ノ場合ニ於テハ市長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第一項ノ期間ハ第三十六條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ

規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ市長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

第三十六條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十二條第一項又ハ第三十四條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申

立及市會ノ決定ハ無効トス

第二項若ハ第六項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十條、第三十三條又ハ第三十七條第一項若ハ第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

市會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十七條 選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第三十三條第五項及第六項ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第三十八條 市會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ニ該當スルヤ否ハ市會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外市會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

市長ハ市會議員中被選舉權ヲ有セサル者又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者アリト認ムルトキハ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十六條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十九條 第二十一條ノ三及第三十六條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、市會ノ決定ハ市長直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條ノ二 勅令ヲ以テ指定スル市(第六條ノ市ノ區ヲ含ム)ノ市會議員(又ハ區會議員)ノ選舉ニ付テハ府縣制第十三條ノ二、第十三條ノ三、第二十九條ノ三及第三十四條ノ二ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ第二十三條第三項及第五項、第二十五條第五項及第七項、第二十五條ノ三、第二十八條、第二十九條、第三十三條第一項並第三十六條第一項ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十九條ノ三 前條ノ規定ニ依ル選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第一章及第十一章並第四百十條第二項及第四百四十二條ノ規定ヲ準用ス但シ議員候補者一人ニ付定ムヘキ選舉事務所ノ數、選舉委員及選舉事務員ノ數並選舉運動ノ費用ノ額ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル
前條ノ規定ニ依ル選舉ヲ除クノ外市會議員(又ハ第六條ノ市ノ區ノ區會議員)ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第九十一條、第九十二條、第九十八條、第九十九條第二項、第一百條及第四百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 市會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ市參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十四條 市會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十五條 市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

市會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ市長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條 市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ市長又ハ監督官廳ニ提出スルコトヲ得

第四十七條 市會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ
市會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ市會成立セシ、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ市會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 市會ハ議員中ヨリ議長及副議長一人ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル
第四十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長及副

第四十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限

第四十一條 市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十二條 市會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 市條例及市規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二 市費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第九十三條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 四 決算報告ヲ認定スル事
- 五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、市税又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
- 六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事
- 七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スル事
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 十 市吏員ノ身元保證ニ關スル事
- 十一 市ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條 市長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之ヲ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十一條 市會ハ市長之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ招集スヘシ

市長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ市會ヲ招集スルコトヲ得
招集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
市會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ市長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

市會ハ市長之ヲ開閉ス

第五十二條 市會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得但シ第五十四條ノ除斥ノ爲半數ニ満たサルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿

タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條 法律勅令ニ依リ市會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外一人毎ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第二十五條及第二十八條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

第一項ノ選舉ニ付テハ市會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ議ヲ開クニトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十九條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉ジ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十八條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テ其ノ投票ニシテ第二十八條第一號、第六號及第七號ニ該當スルモノ並其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ同條第二號、第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テ過半數ノ投票ヲ得タル者選舉スヘキ定數ヲ超ユルトキハ最多數ヲ得タル者ヨリ順次選舉スヘキ定數ニ至ル迄ノ者ヲ以テ當選者トシ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

第五十六條 市會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 市長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
- 二 議長又ハ議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クニトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十九條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉ジ又ハ中止スルコトヲ得ス

議長ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第六十二條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議長ハ市會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第六十三條 市會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ市會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第六十四條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ其ノ選舉ニ關シテハ第二十五條第二十八條及第三十條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

名譽職參事會員中闕員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ名譽職參事會員ハ隔年之ヲ選舉スヘシ
名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス市會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ
名譽職參事會員ハ其ノ選舉ニ關シ第九十條ノ處分確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第六十六條 市參事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ市長代理者之ヲ代理ス

第二款 職務權限

第六十七條 市參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 (削除)

三 其ノ他法令ニ依リ市參事會ノ權限ニ屬スル事件

第六十八條 市參事會ハ市長之ヲ召集ス名譽職參事會員定數ノ半數以上ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ召集スヘシ

第六十九條 市參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十條 市參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員

ヲ得其ノ定數ハ其ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第七十三條 市長ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

市長ハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

市長ハ其ノ退職セムトスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス但シ市會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條 市參與ハ名譽職トス但シ定數ノ全部又ハ一部ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第七十二條第三項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

市參與ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定ム

名譽職市參與ハ市民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル

第七十五條 助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

助役ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定メ市長職ニ在ラサルトキハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

第七十三條第三項ノ規定ハ助役ニ之ヲ準用ス

第七十六條 市長有給市參與及助役ハ第九條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ市ノ公民トス

第七十七條 市長市參與及助役ハ第十八條第二項又ハ第四項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得又其ノ市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査

定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第二項ノ除外ノ爲名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付召集再回ニ至ルモ仍名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タサルトキ又ハ召集ニ應スルモ出席名譽職參事會員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス
議長及參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市參事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得
議長及其ノ代理者共ニ前項ノ場合ニ當ルトキハ八年長ノ名譽職參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第七十一條 第四十六條第四十七條第五十條第五十一條第二項及第五項第五十三條第五十五條第五十七條乃至第五十九條第六十一條第六十二條第一項及第二項ノ規定ハ市參事會ニ之ヲ準用ス

第四章 市吏員

第一款 組織選舉及任免

第七十二條 市ニ市長及助役一人ヲ置ク但シ第六條ノ市ノ助役ノ定數ハ內務大臣之ヲ定ム

助役ノ定數ハ市條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ必要アル市ニ於テハ市條例ヲ以テ市參與ヲ置クコト

役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ス

第七十八條 市長ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ス

市長有給市參與及助役ハ會社ノ取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第七十九條 市ニ收入役一人ヲ置ク但シ市條例ヲ以テ副收入役ヲ置クコトヲ得

第七十五條第一項及第二項、第七十六條、第七十七條並前條第二項ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

市長市參與又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス收入役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第八十條 第六條ノ市ノ區ニ區長一人ヲ置キ市有給吏員トシ市長之ヲ任免ス

第七十七條第一項及第七十八條第二項ノ規定ハ區長ニ之ヲ準用ス

第八十一條 第六條ノ市ノ區ニ區收入役一人又ハ區收入役及區副收入役各一人ヲ置ク

區收入役及區副收入役ハ第八十六條ノ吏員中市長、助役、市收入役、市副收入役又ハ區長トノ間及其ノ相互ノ間ニ父子兄弟タル緣故アラサル者ニ就キ市長之ヲ命ス

區收入役又ハ區副收入役ト爲リタル後市長、助役、市收入

役、市副収入役又ハ區長トノ間ニ父子兄弟タル縁故生シタルトキハ區收入役又ハ區副收入役ハ其ノ職ヲ失フ
前項ノ規定ハ區收入役及區副收入役相互ノ間ニ於テ區副收入役ニ之ヲ準用ス

第八十二條 第六條ノ市ヲ除キ其ノ他ノ市ハ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得
前項ノ區長及其ノ代理者ハ名譽職トス市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定ム

內務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス區長ヲ有給吏員ト爲スヘキ市ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ區ニ付テハ第八十條第八十一條第九十四條第二項第九十七條第四項第九十八條及第九十九條ノ規定ヲ準用スルノ外必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條 市ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス市會議員、名譽職參事會員又ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定ム但シ委員長ハ市長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市參與若ハ助役ヲ以テ之ニ充ツ

委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八十四條 市公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルカ爲市公民タル者選舉權ヲ有セサルニ至リタ

六 稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スル事
其ノ他法令ニ依リ市長ノ職權ニ屬スル事項

第八十八條 (削除)

第八十九條 市長ハ市吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

第九十條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セスシテ直ニ議決ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ議決ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項ノ議決又ハ前項ノ處分ニ不服アル市長市會又ハ市參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
市會又ハ市參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ市ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ
前項ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會其ノ議決ヲ改メサルト

ルトキハ其ノ職ヲ失フ
前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第八十五條 前數條ニ定ムル者ノ外市ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 前數條ニ定ムル者ノ外第六條及第八十二條第三項ノ市ノ區ニ必要ノ市有給吏員ヲ置キ區長ノ申請ニ依リ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第八十七條 市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

- 一 市會及市參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財產及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法令又ハ市會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、市

キハ市長ハ府縣參事會ノ議決ヲ請フヘシ
前項ノ議決ニ不服アル市長市會又ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六項ノ議決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ議決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 市會成立セサルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市參事會ニ於テ議決ヲ爲ストキハ市長市參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

市參事會成立セサルトキ又ハ第七十條第一項但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ市長ハ其ノ議決スヘキ事件ニ付府縣參事會ノ議決ヲ請フコトヲ得

市會又ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル
市會又ハ市參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前四項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル市參事會又ハ府縣參事會ノ決定ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項及前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於
テ之ヲ市會又ハ市參事會ニ報告スヘシ

第九十二條 市參事會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ
臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會成立セザルトキ又ハ
市長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ之
ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市參事會ニ報告スヘシ
前項ノ規定ニ依リ市長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ
規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十三條 市長其ノ他市吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國府
縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

第九十四條 市長ハ其ノ事務ノ一部ヲ助役ニ分掌セシムルコ
トヲ得但シ市ノ事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ
要ス

第九十五條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第九十六條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第九十七條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第九十八條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第九十九條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零一條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零二條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零三條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零四條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零五條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零六條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零七條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零八條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

特別ノ事業ヲ擔任ス

第九十六條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス
市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第九十七條 收入役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及第九十三
條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會
計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在
ラス

第九十八條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第九十九條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零一條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零二條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零三條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零四條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零五條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零六條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零七條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零八條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百零九條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百一十條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百一十一條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百一十二條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第一百一十三條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコ
トヲ得

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

トキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定及裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴訟又ハ訴訟ヲ提起
スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコト
ヲ得

第八條 費用、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死
亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ市ノ負擔トス

第六章 市ノ財務

第一款 財産營造物及市税

第九條 收益ノ爲ニスル市ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持
スヘシ

市ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積
立ツルコトヲ得

第十條 舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ
使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ
變更又ハ廢止セムトスルトキハ市會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ
市ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第十一條 市ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ市規
則ヲ設クルコトヲ得

第十二條 市ハ第九條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收
シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ

場合ハ此ノ限ニ在ラス
國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコト
ヲ得ス

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵
收スルモノトス

第十八條 三月以上市内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週
リ市稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第十九條 市内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコト
ナシト雖市内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有
シ、市内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ市内ニ於テ特定
ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對
シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル市稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第二十條 納稅者ノ市外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地
家屋物件若ハ其ノ收入又ハ市外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營
業若ハ其收入ニ對シテハ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

市ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業
又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附加
稅ヲ賦課スル場合及住所滞在市内ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシ
テ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入
ニ非サルモノニ對シ市稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム

第二十一條 所得稅法第十八條ニ掲クル所得ニ對シテハ市

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得
第十三條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ
得

市ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコト
ヲ得

第十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他
ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、
入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會
ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ
補助ヲ爲スコトヲ得

第十六條 市ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將
來法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ
負フ

市ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、過料、過怠金
其ノ他法令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ
仍不足アルトキハ市稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十七條 市稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ
一 國稅府縣稅ノ附加稅

二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ
徵收スヘシ但シ第六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル

稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所
說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ市稅ヲ賦
課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅
ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在
ラス

國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件
及營造物ニ對シテハ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニ
テ之ヲ使用セシムル者及使用者ニ對シテハ此ノ限ニ在
ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ市
稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外市稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅
令ノ定ムル所ニ依ル

第二十一條 市ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不
適當トスル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ市稅ヲ課セ
サルコトヲ得

第二十二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要
ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

市ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用
ハ其ノ部内ニ於テ市稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムル
コトヲ得

一一三

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同シ

數人又ハ市ノ一部ヲ利スル財産ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第二百二十三條 市税及其ノ賦課徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十四條 數人又ハ市ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ市ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條 夫役又ハ現品ハ直接市税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第二百二十六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ市ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ市長、警察官吏又ハ監督官廳ハ市内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百二十七條 市税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證券ヲ携帯スヘシ

第二百二十八條 市長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ市參事會ノ議決ヲ經ヘシ
市ハ特別ノ事情アル者ニ限り市税ヲ減免スルコトヲ得

第二百二十九條 使用料手数料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ市税ヲ遁脱シタル者ニ付テハ市條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ遁脱シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未満ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料及市税ノ賦課徵收ニ關シテハ市條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財産又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ
過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二百三十條 市税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ市長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ市長ハ七日以内ニ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服

前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權

第三十一條 市税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金其

ノ他ノ市ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權

ヲ有シ其ノ追徴還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル
前三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決
ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起ス
ルコトヲ得

第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行
ヲ停止ス

第三百二十二條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、市ノ永久ノ利益
ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合
ニ限リ市債ヲ起スコトヲ得

市債ヲ起スニ付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法
利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

市長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲市參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ
借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歲入出豫算及決算

第三百二十三條 市長ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ遅ク
モ年度開始ノ一月前ニ市會ノ議決ヲ經ヘシ

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市長ハ併セテ事務報告書及財
産表ヲ提出スヘシ

第三百二十四條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ

更正ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條 市費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ
其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年
各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第三百二十六條 市ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツ
ル爲豫備費ヲ設クヘシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

豫備費ハ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第三百二十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報
告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第三百二十八條 市ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三百二十九條 市會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ
其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ

收入役ハ市長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲
スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出
費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ
得サルトキ亦同シ

第三百四十條 市ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金
ノ例ニ依ル

第三百四十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且每
會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ市長之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職參事會員ニ於テ互

選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要ス

第四百二十二條 市ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス
決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之
ヲ市長ニ提出スヘシ市長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通
常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ市會ノ認定ニ付スヘシ

決算ハ其ノ認定ニ關スル市會ノ議決ト共ニ之ヲ府縣知事ニ
報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第四百二十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必
要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 市ノ一部ノ事務

第四百二十四條 市ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケ
タルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付
テハ本法中市ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法
律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又
ハ營造物ノ屬スル市ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ市ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第四百二十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ム
ルトキハ府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ
經テ市條例ヲ設定シ區會ヲ設ケテ市會ノ議決スヘキ事項ヲ
議決セシムルコトヲ得

第四百二十六條 區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選

區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選

舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ市條例中ニ之ヲ規定
スヘシ

區會議員ノ選舉ニ付テハ市會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但
シ選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定
及被選舉權ノ有無ノ決定ハ市會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

區會ニ關シテハ市會ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百二十七條 第四百二十四條ノ場合ニ於テ市ノ一部府縣知事
ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百二十八條 第四百二十四條ノ市ノ一部ノ事務ニ關シテハ本
法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 市町村組合

第四百二十九條 市町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其
ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ設クルコ
トヲ得

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會
ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ前項ノ市町村組合ヲ
設クルコトヲ得

市町村組合ハ法人トス

第四百三十條 市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ
又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係市町村ノ協
議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會

ノ意見ヲ徴シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合市町村ノ數ヲ增減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條 市町村組合ヲ設クルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徴シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第二百五十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル市町村、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置、組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第二百五十三條 市町村組合ヲ解カムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徴シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市町村組合ヲ解クコトヲ得

第二百五十四條 第二百五十條第一項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係市町村ノ協議ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十條第二項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徴シ府縣參事會ノ

議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第二百五十五條 第四百四十九條第一項第五百十條第一項第五百十一條第一項第五百十三條第一項及前條第二項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ市町村組合ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル市町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ七日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十六條 市町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章 市ノ監督

第五十七條 市ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス

第五十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ノ監督

督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル市ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第六十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ
決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル
異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第六十條 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外其ノ決定ニ付セラレタル日ヨリ三月以内ニ之

ヲ爲スヘシ
府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

第六十一條 監督官廳ハ市ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ市ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第六十二條 內務大臣ハ市會ノ解散ヲ命スルコトヲ得
市會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第六十三條 市ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

市長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス
前二項ノ處分ニ不服アル市又ハ市長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十四條 市長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ

職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ市費ヲ以テ辨償セシムヘシ
臨時代理者ハ有給ノ市吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第六十五條 市條例ヲ設ケ又ハ改正セムトスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第六十六條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 市債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事但シ第三百三十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 特別税ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 三 間接國税ノ附加税ヲ賦課スル事
 - 四 使用料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 第六十七條** 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 一 市條例ヲ廢止スル事
 - 二 基本財産及特別基本財産ノ處分ニ關スル事
 - 三 第三百十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事
 - 四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
 - 五 手数料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加税ヲ賦課スル事

七 第二百二十二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ市ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

八 第二百二十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事

九 第二百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第六十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第六十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケンメサルコトヲ得

第七十條 府縣知事ハ市長、市參與、助役、收入役、副收入區長、區長代理者、委員其ノ他ノ市吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ市長、市參與、助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經市長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ

府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ市長ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
府縣知事ハ市長、市參與、助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第七十一條 市吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十章 雜則

第七十二條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參

事會ヲ指定スヘシ

第七十三條 本法ニ規定スルモノノ外第六條ノ市ノ有給吏員ノ組織任用分限及其ノ區ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 本法ニ於ケル直接稅及間接稅ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第七十六條 市又ハ市町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 本法中府縣、府縣制、府縣知事、府縣參事會、府縣名譽職參事會員、府縣高等官、所屬府縣ノ官吏若ハ有給吏員、府縣稅又ハ直接府縣稅ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各地方費、道會法、道廳長官、道參事會、道名譽職參事會員、道廳高等官、道廳ノ官吏若ハ地方費ノ有給吏員、北海道地方稅又ハ直接北海道地方稅ニ、町村又ハ町村會ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各町村又ハ町村會ニ該當スルモノニ關シ之ヲ適用ス

第七十七條ノ二 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

附則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治

四十四年九月勅令第二百三十八號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）
第七十九條 本法施行ノ際現ニ市會議員又ハ區會議員ノ職

ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ
其ノ職ヲ失フ

本法施行ノ際現ニ市長助役又ハ收入役ノ職ニ在ル者ハ從前
ノ規定ニ依ル任期滿了ノ日ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第八十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適
用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス
舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑
ト看做ス

第八十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ
定ム

附則 (大正十年法律第五十八號)

本法中公民權及選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行
シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十
年五月勅令第八十九號ヲ以テ同年同月二十日ヨリ施行)
沖繩縣ノ區ヲ廢シテ市ヲ置カムトスルトキハ第三條ノ例ニ依
ル

附則 (大正十一年法律第五十六號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十一年五月勅令第
二百五十五號ヲ以テ同年同月十五日ヨリ施行)

北海道ノ區ヲ廢シテ市ヲ置カムトスルトキハ第三條ノ例ニ依
ル

附則 (大正十五年法律第七十四號)

本法中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ
施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大
正十五年六月勅令第二百七號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名
簿ニ關シ第二十一條乃至第二十一條ノ五ニ規定スル期日又ハ
期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定
ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有
ス

本法施行ノ際大正十四年法律第四十七條衆議院議員選舉法又
ハ大正十五年府縣制中改正法律未タ施行セラレサル場合ニ於
テハ本法適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做
ス
本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●町村制

(明治四十四年四月七日)總、内、大
法律第六十九號(區副署)

沿革 大正一〇年四月法律第五九號、一五年六月第七五號改正
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル町村制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第四章 給料及給與

第五章 町村ノ財務

第一款 財產營造物及町村稅

第二款 歲入出豫算及決算

第六章 町村ノ一部ノ事務

第七章 町村組合

第八章 町村ノ監督

第九章 雜則

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村ハ從來ノ區域ニ依ル

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

第二款 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ
其ノ公共事務竝從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ
依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三款 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ
府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議
決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ町村ノ
區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ
前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町
村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定
ム

第四款 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁定ス其
ノ裁定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ
府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服ア
ル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由
ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付スヘシ

第五款 町村ノ名稱ヲ變更セムトスルトキ、村ヲ町ト爲シ若
クハ町ヲ村ト爲シ得

第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟
ヲ提起スルコトヲ得

ハ町ヲ村ト爲サムトスルトキ又ハ町村役場ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セムトスルトキハ町村ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス
町村住民ハ本法ニ從ヒ町村ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來町村住民タル者ハ其ノ町村公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス
一 禁治産者及準禁治産者
二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者
三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
四 一定ノ住居ヲ有セサル者
五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
町村ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得
第一項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラレルコトナシ
第八條 町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラレル權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ
左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止スルコトヲ得
一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得サル者
三 年齢六十年以上ノ者
四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五 四年以上名譽職町村吏員、町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者
六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者
前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第三款 町村條例及町村規則

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得

町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

議員ノ定數左ノ如シ

- 一 (削除)
- 二 人口五千未滿ノ町村 十二人
- 三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八人
- 四 人口一萬以上二萬未滿ノ町村 二十四人

五 人口二萬以上ノ町村

三十人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 (削除)

第十四條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス
在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス
選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十六條 町村會議員ハ名譽職トス
議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ議員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チ

サルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ闕員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ闕員ハ最モ先ニ闕員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ闕員ト爲リタル時同シキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十七條 町村會議員中闕員ヲ生シタルトキハ三月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ但シ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第三十條第五項及第六項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十八條 町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住所及生年月日等ヲ記載スヘシ

第十八條ノ二 町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ

町村長ハ縱覽開始ノ日前三日目迄ニ縱覽ノ場所ヲ告示スヘシ

町村長ハ縱覽開始ノ日前三日目迄ニ縱覽ノ場所ヲ告示スヘシ

シ

第十八條ノ三 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縱覽期間滿了後三日以内ニ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十八條ノ四 選舉人名簿ハ十二月二十五日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十二月二十四日迄之ヲ据置クヘシ

前條ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

投票分會ヲ設クルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ

第十八條ノ五 第十八條ノ三ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定

シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ名簿ノ調製、縱覽、確定及異議申立ニ對スル町村會ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ名簿ニ關シ其ノ分合其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 町村長ハ選舉ノ期日前七日目迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同シ)、投票ノ日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併せて其ノ區劃ヲ告示スヘシ

投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ町村長ハ其ノ投票ヲ行フヘキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日迄ニ之ヲ告示スヘシ

第二十條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

町村長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至

町村長ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至

四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ

投票分會ハ町村長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

町村長ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スヘシ

選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第二十一條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入リタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第二十二條ノ二 確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

第二十二條ノ三 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人之ヲ決定ス可非同數ナルトキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スヘシ

投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自

可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

第二十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可非同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十七條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキ八年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十七條ノ二 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セ

ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第二十三條 第三十條若ハ第三十四條ノ選舉、增員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十四條 町村長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スヘシ

第二十四條ノ二 選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第二十二條ノ三第二項及第四項ノ投票ヲ調査スヘシ其ノ投票ノ受理如何ハ選舉立會人之ヲ決定ス可非同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ
天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハサルトキハ町村長ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十四條ノ三 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條ノ四 特別ノ事情アルトキハ町村ハ府縣知事ノ許

サルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第二十八條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間町村長ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シ

第九

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

タルモノト看做ス

町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第三十條 當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

三 死亡者ナルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依リ選舉又ハ補選選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

ス

前項ノ事由前條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

第二項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第一項ノ期間ハ第三十三條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿テサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議

員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十二條

選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第三十三條

選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第二十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

第二項若ハ第六項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條、第三十條又ハ第三十四條第一項若ハ第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條

選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第三十五條

町村會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ

被選舉權ノ有無又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者ニ該當スルヤ否ハ町村會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十三條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十六條 第十八條ノ三及第三十三條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、町村會ノ決定ハ町村長直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十六條ノ二 町村會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第九十一條、第九十二條、第九十八條、第九十九條第二項、第一百條及第四百十二條ノ規定ヲ準用ス

第三十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三十八條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ハ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充テシムルコトヲ得

町村總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二款 職務權限
第三十九條 町村會ハ町村ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十條 町村會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
一 町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事
二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第七十七條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事
四 決算報告ヲ認定スル事

五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、

町村稅又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 基本財産及積立金數等ノ設置管理及處分ニ關スル事

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十 町村吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 町村ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事

第四十一條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十二條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十三條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長又ハ監督官廳ニ提出スルコトヲ得

第四十四條 町村會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ町村會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

特別ノ事情アル町村ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス町村條例ヲ以テ町村會ノ選舉ニ依ル議長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市制第四十八條及第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十七條 町村會ハ町村長之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ招集スヘシ
町村長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

町村會ハ町村長之ヲ閉閉ス

第四十八條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十條ノ除斥ノ爲半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一人毎ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

ル者二人ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第二十二條及第二十五條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス

第一項ノ選舉ニ付テハ町村會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テ其ノ投票ニシテ第二十五條第一號、第六號及第七號ニ該當スルモノ並其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ同條第二號、第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テ過半數ノ投票ヲ得タル者選舉スヘキ定數ヲ超ユルトキハ最多數ヲ得タル者ヨリ順次選舉スヘキ定數ニ至ル迄ノ者ヲ以テ當選者トシ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

第五十二條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ

二 議員二人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラス市制第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十三條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十五條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依リ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十四條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表示シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十八條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

會議錄ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ市制第六十二條第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第六十條 町村ニ町村長及助役一人ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ハ名譽職トス

町村ハ町村條例ヲ以テ町村長又ハ助役ヲ有給ト爲スコトヲ得

第六十二條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス

第六十三條 町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

助役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム町村長職ニ在ラサルトキハ前項ノ例ニ依ル

名譽職町村長及名譽職助役ハ其ノ町村公民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル

有給町村長及有給助役ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ町村ノ公民トス

第六十四條 有給町村長及有給助役ハ其ノ退職セムトスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得

但シ町村會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條 町村長及助役ハ第十五條第二項又ハ第四項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ヌ又其ノ町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ヌ

第六十六條 有給町村長ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ヌ

有給町村長及有給助役ハ會社ノ取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ヌ

第六十七條 町村ニ收入役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ副收入役一人ヲ置クコトヲ得

收入役及副收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

第六十三條第二項及第四項、第六十五條並前條第二項ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ヌ收入役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ヌ

特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十八條 町村ハ庶務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理人一人ヲ置クコトヲ得

區長及其ノ代理人ハ名譽職トス町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム

第六十九條 町村ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ之ニ充ツ

委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第七十條 町村公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルカ爲町村公民タル者選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ヌ

第七十一條 前數條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ町村長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十二條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、

町村稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スル事

六 其ノ他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項

第七十三條 町村長ハ町村吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第七十四條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ裁決ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村會ノ議決公益ヲ害シ又ハ町村ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ府縣知事ノ處分ヲ請フヘシ

前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十五條 町村會成立セサルトキ又ハ第四十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ町村長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スヘキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

町村會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シテ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第七十六條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セサルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十七條 町村長其ノ他町村吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ

國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲メスル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村長ハ其ノ事務ノ一部ヲ助役又ハ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第七十九條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス
助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ町村長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第八十條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第七十七條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村會ハ町村長ノ推薦ニ依リ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ但シ副收入役ヲ置キタル町村ハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

町村長ハ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ町村

會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八十一條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキ之ヲ代理ス

第八十二條 委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第八十三條 第七十一條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第四章 給料及給與

第八十四條 名譽職町村長、名譽職助役、町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲メスル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得名譽職町村長、名譽職助役、區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十五條 有給町村長、有給助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第八十七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ

異議アルトキハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ町村長ハ七日以内ニ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第八十九條 收益ノ爲ニスル町村ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スヘシ

町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣

ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ
前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ
町村ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十一條 町村ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ町
村規則ヲ設クルコトヲ得

第九十二條 町村ハ第九十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵
收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金
ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコト
ヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコ
トヲ得

第九十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他
ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、
入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村
會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又
ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ
將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義
務ヲ負フ

町村ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、過料、

過怠金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支
出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收ス
ルコトヲ得

第九十七條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如
シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ
徵收スヘシ但シ第四百七十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル
場合ハ此ノ限ニ在ラス

國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコト
ヲ得ス

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵
收スルモノトス

第九十八條 三月以上町村內ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ
廻リ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條 町村內ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコ
トナシト雖町村內ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ
占有シ、町村內ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ町村內ニ
於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ
收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル
義務ヲ負フ

第一百條 納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家
屋物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營
業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營
業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附
加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入
ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル
收入ニ非サルモノニ對シ町村稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅
令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百一條 所得稅法第十八條ニ掲クル所得ニ對シテハ町村稅
ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所
說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ町村稅ヲ
賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住
宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ
在ラス

國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件
及營造物ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料
ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ
在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町
村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律
勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百一條ノ二 町村ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適
當トスル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ町村稅ヲ課セ
サルコトヲ得

第一百二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル
費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費
用ハ其ノ部內ニ於テ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシ
ムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ
其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ前項ノ場合ニ於テ其ノ
一部ノ收入アルトキ亦同シ

數人又ハ町村ノ一部ヲ利スル財産ニ付テハ前三項ノ例ニ依
ル

第一百三條 町村稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法
律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第一百四條 數人又ハ町村ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關
シテハ町村ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部
ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第一百五條 夫役又ハ現品ハ直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村
稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ

金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第四百四十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第百六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ
前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ
第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其

ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百七條 町村税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證券ヲ携帯スヘシ

第百八條 町村長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ
町村ハ特別ノ事情アル者ニ限り町村税ヲ減免スルコトヲ得

第百九條 使用料手数料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ
詐僞其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ町村税ヲ逋脱シタル者ニ付テハ町村條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ逋脱シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得
前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料及町村税ノ賦課徵收ニ關シテハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財產又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十條 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ町村長ハ七日以内ニ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第一項及前項ノ規定ハ使用料手数料及加入金ノ徵收並夫役現品ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス
前二項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
前三項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十一條 町村税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金其ノ他ノ町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町

村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ
夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ、手数料ヲ徵收スルコトヲ得
滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル
前三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第百十二條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ
町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歳入出豫算及決算

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第百十三條 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クモ年度開始ノ一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第百十四條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百十五條 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年間に各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百十六條 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百十八條 町村ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百十九條 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ勝手ヲ收入役ニ交付スヘシ

收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ助役ニ之ヲ準用ス

第百二十條 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第百二十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

第百二十二條 町村ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

第六十七條第五項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スヘシ

決算ハ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ
決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及助役共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第百二十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 町村ノ一部ノ事務

第百二十四條 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中町村ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第百二十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第百二十六條 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スヘシ區總會ノ組織ニ關スル事項ニ付亦同シ

區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

但シ選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スヘシ
區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第百二十七條 第百二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百二十八條 第百二十四條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 町村組合

第百二十九條 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

町村組合ハ法人トス

第百三十條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數

ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セムトスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ其ノ組合町村ノ數ヲ増加セムトスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラムトスル町村トノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

組合規約ヲ變更セムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經テ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第三百三十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムヘシ
一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會

ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第三百三十三條 町村組合ヲ解カムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第三百三十四條 第三百三十條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議、關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第三百三十條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第三百三十五條 第二百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ七日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百三十六條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 町村ノ監督

第三百三十七條 町村ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第三百三十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三百三十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四百十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
行政訴訟ノ提起ハ處分決定裁決又ハ裁決アリタル日ヨリ三

十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第四百十條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外其ノ決定ニ付セラレタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ爲スヘシ

府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ
第四百十一條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ、書類帳簿ヲ徵シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得
監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スルコトヲ得

第四百二十二條 內務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第四百二十三條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百二十四條 町村長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムヘシ

臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第四百四十五條 町村條例ヲ設ケ又ハ改正セムトスルトキハ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第四百四十六條 左ニ掲クル事件ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一 町村債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事但シ第十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

四 使用料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第四百四十七條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

一 町村條例ヲ廢止スル事

二 基本財産及特別基本財産並林野ノ處分ニ關スル事

三 第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事

四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事

五 手數料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

七 第二百二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

八 第四百四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事

九 第二百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第四百四十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官

廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第四百四十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第五百十條 府縣知事ハ町村長、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ行フ

懲戒審査會ハ內務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

府縣知事ハ町村長、助役、收入役及副收入役ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其

ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス
懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市町村ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス

第九章 雜則

第五百五十二條 (削除)

第五百五十三條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ內務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第五百五十四條 第十一條ノ人口ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五百五十五條 本法ニ於ケル直接稅及間接稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第五百五十六條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ町村ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五百五十七條 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

第五百五十七條 本法ハ北海道其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼

ニ之ヲ施行セス
前項ノ地域ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ本法ニ代ハルヘキ制ヲ定ムルコトヲ得

附則

第五百五十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十四年九月勅令第二百三十八號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

第五百五十九條 本法施行ノ際現ニ町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設クル町村組合會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第六十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復権ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス

第六十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (大正十年法律第五十九號)

本法中公民權及選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十年五月勅令第八十九號ヲ以テ同年五月二十日ヨリ施行)

附則 (大正十五年法律第七十五號)

本法中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ

施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十五年勅令第二百八號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

第三十八條ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケサル町村ニ付テハ本法ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十五年勅令第二百八號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間從前ノ第十四條、第十七條、第十八條、第三十一條、第三十三條及第三十六條ノ規定ニ依リ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十八條乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

本法施行ノ際大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

市制町村制ノ施行ニ關スル件

(明治四十四年九月二十二日) 總、内、大勅令第二百四十三號 臣副署

朕市制町村制ノ施行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市制町村制施行前舊市制町村制ニ依リ爲シタル手續

其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ市制町村制ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第二條 町村ノ境界ニ關スル爭論ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス

其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依リ訴願期間内ニ府縣參事會ノ裁決ヲ請フコトヲ得郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ爲府縣參事會ニ爲シタル訴願ハ之ヲ其ノ裁決ヲ請ヒタルモノト看做ス

市町村ノ境界ニ關スル爭論ニ付府縣參事會ノ爲シタル裁決ハ之ヲ裁決ト看做ス

第三條 町村名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルカ爲受ケタル町村公民權停止及町村費増課ノ處分ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス

其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依リ訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ニ於テ爲シタル市町村公民權停止及市町村費増課ノ處分ニ對スル訴願ノ期間ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四條 市町村營造物ニ關スル從前ノ市町村規則中市町村條例ヲ以テ規定スヘキ事項ニ關スル規定ハ市町村條例ト同一ノ效力ヲ有ス

第五條 市會議員ノ定數市制第十三條ノ議員ノ定數ニ滿タサルニ依リ其ノ不足ヲ補フカ爲選舉シタル議員ハ從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第六條 市町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設ケタル町村組合會議員ノ補闕又ハ増員ニ付從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期前ニ於テ其ノ選舉ヲ行ヒタルトキハ其ノ補闕議員又ハ増員議員ハ從前ノ規定ニ依リ最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ當選ヲ辭シ又ハ選舉若ハ當選無効ト爲リタルカ爲選舉セラレタル議員ニ付亦同シ

第七條 市制町村制施行前ノ選舉ニ關スル選舉人名簿又ハ選舉人名簿及ハ選舉ノ效力ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ選舉人名簿又ハ選舉ノ效力ニ關スル訴願ニシテ市制町村制施行前市町村長ニ於テ受理シタルモノ又ハ市町村會ニ付議シタルモノハ之ヲ市町村會ノ決定ニ付シタルモノト看做ス其ノ決定及市町村會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ異議ノ決定ト看做シ其ノ市制町村制施行前ニ爲シタル裁決ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依リ訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

市制町村制施行前ニ於ケル選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル異議ハ從前ノ規定ニ依リ訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第二項ノ裁決ニ不服アル者ノ提起シタル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタ

ルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

第八條 市制町村制施行前家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲公判ニ付セラレタル者ノ選舉權及被選舉權ノ有無ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九條 選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル府縣知事ノ異議ニシテ市制施行前府縣參事會ニ付議シタルモノハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付シタルモノト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ決定ト看做ス

選舉又ハ當選ノ效力ニ關スル郡長ノ異議ニシテ町村制施行前郡參事會ニ付議シタルモノアルトキハ郡長ニ於テ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處分スヘシ其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

第十條 市制施行ノ際現ニ市會議長及其ノ代理者タル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ル

前項ノ議長代理者ハ之ヲ副議長ト看做ス

第十一條 從前ノ規定ニ依ル市町村助役ノ選舉及收入役ノ選任ニ付テハ市町村長ノ推薦ニ依リ市町村會ニ於テ定メタルモノト看做ス

第十二條 町村長ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ超エ又ハ法

令ニ背クト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ニ於テ町村會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ郡長ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

前項ノ事件ニ付町村制施行前府縣參事會ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市參事會ニ於テ市會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ府縣參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ハ之ヲ市長ノ申請ト看做ス市制施行前其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 市制施行前市ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料又ハ名譽職員ノ實費辨償若ハ報酬ノ給與ニ關シ府縣參事會ニ於テ受理シタル異議ハ之ヲ訴願ト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル異議ノ裁決ハ之ヲ訴願ノ裁決ト看做ス

町村ノ有給吏員ノ給料若ハ退職料、名譽職員ノ實費辨償若ハ報酬又ハ町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議ノ申立ニシ

テ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議、訴願及訴訟ニ付テハ給料ニ關スル規定ヲ準用ス

市制町村制施行前前三項ノ給與ニ關シ爲シタル處分ニ對スル異議ノ申立期間ハ市制町村制施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 從前ノ使用料、手数料及特別稅ニシテ市町村條例ニ依ラサルモノハ之ヲ市町村條例ヲ以テ規定シタルモノト看做ス

使用料、手数料及特別稅ニ關シ從前市町村條例ニ規定シタル料科ハ之ヲ過料ト看做ス但シ市制町村制施行前料科ノ處分ヲ受ケタル者ノ出訴ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第十五條 市制町村制施行前市町村稅ノ賦課又ハ市町村ノ營造物、市町村有財產若ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ關シ市參事會又ハ町村長ニ申立テタル訴願ハ之ヲ市長又ハ町村長ニ爲シタル異議ノ申立ト看做シ其ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ事件ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做シ其ノ

郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ノ營造物、市町村有財產又ハ其ノ所得ヲ使用スル權利ニ付爲シタル處分ニ對スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第十六條 手数料ノ徵收及市町村稅ノ滯納處分ニ關スル訴願ニシテ郡長又ハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ內務大臣ノ受理シタルモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

市制町村制施行前ノ手数料ノ徵收ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ郡長ニ於テ爲シタル訴願ノ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ府縣知事ニ於テ爲シタル裁決ハ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ト看做ス

市制町村制施行前ノ市町村稅ノ滯納處分又ハ町村稅ノ滯納處分ニ關スル郡長ノ裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十七條 市町村ノ一部ニ屬スル財產又ハ營造物ニ關シ區會又ハ區總會ヲ設クルカ爲市町村條例ノ設定ニ付府縣參事會又ハ郡參事會ヨリ內務大臣ニ提出シタル申請ハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ノ申請ト看做ス

第十八條 町村組合ヲ解カムトスルノ申請ニシテ郡長ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス

第十九條 舊市制第十六條第一項ノ府縣參事會ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

舊町村制第二十條第一項ノ郡參事會ノ處分又ハ裁決ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

前項郡參事會ノ處分又ハ裁決ハ郡長ニ於テ爲シタル處分ト看做シ之ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

舊市制第十六條第一項又ハ舊町村制第二十條第一項ノ郡長又ハ府縣知事ノ處分又ハ裁決ニ不服アルカ爲提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

舊市制第十六條第五項又ハ舊町村制第二十條第五項ノ執行ノ停止ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル
第二十條 舊町村制第二十條ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做シ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ府縣知事ノ裁決ト看做ス

前項郡長ノ處分ニ不服アル者ノ提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十一條 市町村會ノ議決ニ付許可ヲ要スル事件中府縣參事會又ハ郡參事會ニ申請シタルモノニシテ府縣知事又ハ郡長ノ職權ト爲リタルモノハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ニ申請シタルモノト看做ス

第二十二條 市制町村制施行前ニ爲シタル市町村吏員ノ解職ニ付テハ總テ從前ノ規定ニ依ル

第二十三條 第三條第七條第四項第十二條第一項第十三條第二項第十五條第一項若ハ第二項又ハ第十六條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ府縣參事會ニ提起シタル訴願ハ之ヲ市制又ハ町村制ニ依リタルモノト看做ス

第二十四條 市制町村制施行前ノ處分決定裁定又ハ裁決ニ對スル行政訴訟ノ提起期間ハ從前ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市制町村制施行令

(大正十五年六月二十四日)總、内、勅令第二百一號 大臣副署

沿革 昭和二年三月勅令第三八號、三年一月第二六〇號改正
股市制町村制施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

市制町村制施行令

第一章 總則

第一條 市町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ市町村長ノ臨時代理者又ハ職務管掌ノ官吏ハ歳入歳出豫算カ市町村會ノ議決ヲ經テ成立スルニ至ル迄ノ間必要ナル收支ニ付豫算ヲ設ケ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 市町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ府縣知事ハ必要ナル事項ニ付市町村條例ノ設定施行セラルルニ至ル迄ノ間從來其ノ地域ニ施行セラレタル市町村條例ヲ市町村ノ條例トシテ當該地域ニ引續キ施行スルコトヲ得

第三條 市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村其ノ事務ヲ承繼ス、其ノ地域ニ依リ難キトキハ府縣知事ハ事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スヘキ市町村ヲ指定ス

前項ノ場合ニ於テ消滅シタル市町村ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り其ノ市町村長(又ハ市町村長ノ職務ヲ行フ者)タリシ者之ヲ決算ス

前項ノ決算ハ事務ヲ承繼シタル各市町村ノ市町村長之ヲ市町村會ノ認定ニ付スヘシ

市制第四百二十二條第三項又ハ町村制第二百二十二條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 市町村ノ境界變更アリタル爲事務ノ分割ヲ要スルト

キハ其ノ事務ノ承繼ニ付テハ府縣知事之ヲ定ム

第五條 市制第八十二條第三項ノ市ニ於テ新ニ區ヲ劃シ又ハ其ノ區域ヲ變更セントスルトキハ市ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 市制第十一條及町村制第九條ノ規定ニ依リ除外スヘキ學生生徒左ノ如シ

- 一 陸軍各部依託學生生徒
- 二 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並ニ海軍豫備生徒及海軍豫備練習生

第二章 市町村會議員ノ選舉

第七條 市制第二十一條ノ五第三項又ハ町村制第十八條ノ五第三項ノ規定ニ依リ選舉人名簿ノ調製、縱覽、確定及異議申立ニ對スル市町村會ノ決定ニ關スル期日及期間ヲ定メタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第八條 市町村ノ境界變更アリタル場合ニ於テハ市町村長ハ選舉人名簿ヲ分割シ其ノ部分ヲ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ送付スヘシ

市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テ名簿ノ分割ヲ以テ足ルトキハ前項ノ例ニ依リ、其ノ他ノ場合ニ於テハ從前ノ市町村ノ市町村長(又ハ市町村長ノ職務ヲ行フ者)タリシ者ハ直ニ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ選舉人名簿ヲ送付スヘシ

市町村長選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ニ係ル地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ選舉人名簿ト看做ス

第十條 第八條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿確定前ナルトキハ名簿ノ縱覽、確定及異議申立ニ對スル市町村會ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル前項ノ規定ニ依リ期日及期間ヲ定メタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第十一條 市制第二十五條第六項又ハ町村制第二十二條第六項ノ規定ニ依リ盲人カ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル選舉人ハ選舉長又ハ投票分會長ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ、此ノ場合ニ於テハ選舉長又ハ投票分會長ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ市制第二十五條ノ三又ハ町村制第二十二條ノ三ノ例ニ依ル、此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ市制第二十七條ノ二第二項及第三項又ハ町村制第二十四條ノ二第二項及第

三項ノ規定ノ適用ニ付テハ市制第二十五條ノ三第二項及第四項又ハ町村制第二十二條ノ三第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第十二條 市制第二十七條ノ四又ハ町村制第二十四條ノ四ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設ケタルトキハ市町村長ハ直ニ其ノ區劃及開票分會場ヲ告示スヘシ

第十三條 開票分會ハ市町村長ノ指名シタル吏員開票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

第十四條 開票分會ノ區劃内ノ投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票用紙ノ儘投票録及選舉人名簿ノ抄本ト併セテ之ヲ開票分會長ニ送致スヘシ

第十五條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票分會長ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第十六條 開票分會長ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ開票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票録及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第十七條 選舉長ハ總テノ開票分會長ヨリ第十五條ノ報告ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日(又ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日)選舉會ニ於テ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査シ市制第二十七條ノ二第三項又ハ町村制第二十四條ノ二第三項ノ規定ニ依リ爲シタル點檢ノ結果ト併セ

テ各被選舉人(市制第三十九條ノ二ノ市ニ於テハ各議員候補者)ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十八條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準シ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各被選舉人(市制第三十九條ノ二ノ市ニ於テハ各議員候補者)ノ得票總數ト併セテ其ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十九條 開票分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ市町村長ハ市制第三十二條第一項又ハ町村制第二十九條第一項ノ報告ニ開票録ノ寫ヲ添附スヘシ

第二十條 市制第二十三條第五項及第六項並ニ町村制第二十四條第四項及第五項ノ規定ハ開票立會人ニ、市制第二十四條第一項及第二項並ニ町村制第二十一條第一項及第二項ノ規定ハ開票分會場ニ、市制第二十七條ノ二、第二十七條ノ三及第二十九條並ニ町村制第二十四條ノ二、第二十四條ノ三及第二十六條ノ規定ハ開票分會ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

第二十一條 市制第八十二條第三項ノ市ハ其ノ區ヲ以テ選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ市制第二章第一款(第十六條第三項ノ規定ヲ除ク)及本令第二十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ市制第六條ノ市ト看做ス

第三章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉ニ關スル特例

第二十二條 議員候補者ハ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿)ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ選舉立會人タルヘキ者一人ヲ定メ選舉ノ期日前二日迄ニ市長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ届出ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ届出アリタル者(議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出ニ係ル者ヲ除ク)十人ヲ超エサルトキハ直ニ其ノ者ヲ以テ選舉立會人トシ十人ヲ超ユルトキハ(市長市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ其ノ者ノ中ニ就キ抽籤ニ依リ選舉立會人十人ヲ定ムヘシ

前項ノ抽籤ハ選舉ノ期日ノ前日之ヲ行フ第一項ノ届出ヲ爲シタル議員候補者ハ之ニ立會フコトヲ得
前項ノ抽籤ヲ行フヘキ場所及日時ハ市長ニ於テ豫メ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ選舉立會人定マリタルトキハ市長ハ直ニ之ヲ本人ニ通知スヘシ

議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出ニ係ル選舉立會人ハ其ノ職ヲ失フ
第二項ノ規定ニ依ル選舉立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ選舉立會人ニシテ參會スル者選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ

其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ市長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ選舉人名簿（選舉區アルトキハ當該選舉區ノ選舉人名簿）ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ選舉立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ニ立會ハシムヘシ

前七項ノ規定ハ投票立會人及開票立會人ニ之ヲ準用ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者トアルハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者トス

第二十三條 市制第二十五條第五項及第七項ノ規定中被選舉人トアルハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

第二十四條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決定スヘシ

市制第二十五條ノ三第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ投票分會長又ハ投票立會人トアルハ投票立會人トス

第二十五條 市制第二十八條ノ規定中被選舉人トアルハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

前項ノ規定ニ依ルノ外議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トス

第二十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人又ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ開票分會長之ヲ決定スヘシ

第二十七條 市制第三十三條第一項ノ規定ハ同項第六號トシ

テ左ノ一號ヲ加ヘ之ヲ適用ス

六 府縣制第三十四條ノ二ノ規定ノ準用ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

第二十八條 市制第三十六條第一項ノ規定中選舉人トアルハ選舉人又ハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

第四章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉運動及其ノ費用竝ニ公立學校等ノ設備ノ使用

第二十九條 選舉事務所ハ議員候補者一人ニ付議員ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ選舉人名簿（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿）確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一千以上ナルトキハ二箇所ヲ、一千未満ナルトキハ一箇所ヲ超ユルコトヲ得ス

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ市制第二十二條第四項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉事務所ハ前項ノ規定ニ依ル數ヲ超エサル範圍内ニ於テ府縣知事（東京府ニ於テハ警視總監）ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ス

府縣知事（東京府ニ於テハ警視總監）ハ選舉ノ期日ヲ告示アリタル後直ニ前二項ノ規定ニ依ル選舉事務所ノ數ヲ告示スヘシ

第三十條 選舉委員及選舉事務員ハ議員候補者一人ニ付議員

ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ選舉人名簿（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿）確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一千以上ナルトキハ通シテ十五人ヲ、一千未満ナルトキハ通シテ十人ヲ超ユルコトヲ得ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ選舉委員及選舉事務員ニ之ヲ準用ス

第三十一條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 議員ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ選舉人名簿（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿）確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額但シ三百圓未満ナルモノハ三百圓トス

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ議員ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ選舉人名簿（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿）確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

三 市制第二十二條第四項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ府縣知事

（東京府ニ於テハ警視總監）必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

府縣知事（東京府ニ於テハ警視總監）ハ選舉ノ期日ヲ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第三十二條 衆議院議員選舉法施行令第八章、第九章及第十章ノ規定ハ市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ之ヲ準用ス

第五章 市町村吏員ノ賠償責任及身元保證

第三十三條 市町村吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラサリシトキハ市町村ハ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

第三十四條 收入役、副收入役若ハ收入役代理者又ハ收入役ノ事務ヲ兼掌スル町村長若ハ助役市制第三百三十九條第二項又ハ町村制第十九條第二項ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償セシムヘシ區收入役、區副收入役又ハ區收入役代理者ニ付亦同シ

第三十五條 市町村吏員其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町

村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ

第三十六條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市町村ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

市制第六十條第一項乃至第三項又ハ町村制第四百十條第一項乃至第三項ノ規定ハ第一項及第二項ノ訴願及訴訟ニ之ヲ準用ス

第三十七條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ市制第三百一十一條又ハ町村制第一百一十一條ノ例ニ依ル

第三十八條 市町村吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ市町村ハ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第三十九條 本章中市町村ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ノ區及市制第四百十四條ノ市ノ一部及町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ニ之ヲ準用ス

第六章 市町村稅ノ賦課徵收

第四十條 市町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者

ニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ市町村長ハ關係市長又ハ町村長(町村長ニ準スヘキ者ヲ含ム)ト協議ノ上其ノ本稅額ノ歩合ヲ定ムヘシ

前項ノ協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定メ其ノ數府縣ニ涉ルモノハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生スルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト認メ前二項ノ規定ニ依リ本稅額ノ歩合ヲ定ムヘシ

府縣ニ於テ數府縣ニ涉ル營業又ハ其ノ收入ニ對シ營業稅附加稅、營業收益稅附加稅又ハ所得稅附加稅賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ府縣ニ於ケル本稅額ト看做ス

第四十一條 鑛區(砂鑛區域ヲ含ム以下之ニ同シ)カ市町村ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛區稅(砂鑛區稅ヲ含ム)ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ其ノ本稅額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

市町村ノ内外ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其ノ他ノ營業所ヲ設ケタル場合ニ於テ鑛產稅ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ前條ノ例ニ依リ、鑛區カ營業所所在ノ市町村ノ内外ニ涉ル場合亦同シ

第四十二條 住所滞在カ市町村ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ

非サルモノニ對シ市町村稅ヲ賦課セントスルトキハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

前項ノ住所又ハ滞在カ其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月ノ初メヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スヘシ但シ賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦課額ハ變更セズ其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル市町村ニ於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スヘシ

住所滞在カ同一府縣内ノ市町村ノ内外ニ涉ル者其ノ住所又ハ滞在ノ時ヲ異ニシタル場合ニ於テ其ノ者ニ對シ戶數割附加稅ヲ賦課セントスルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 市町村稅ヲ徵收セントスルトキハ市町村長ハ徵稅令書ヲ納稅人ニ交付スヘシ

第四十四條 徵稅令書ヲ受ケタル納稅人納期內ニ稅金ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ

第四十五條 督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ一日ニ付稅金額ノ萬分ノ四以内ニ於テ市町村ノ定ムル割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ稅金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付市町村長ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 令書一通ノ稅金額五圓未満ナルトキ
- 二 納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ

三 納稅者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラスル爲又ハ共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ノ指定期限迄ニ稅金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ハ之ヲ徵收セズ

第四十六條 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ徵稅令書ヲ交付シタル市町村稅ニ限り納期前ト雖モ之ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 國稅徵收法ニ依ル滞納處分ヲ受クルトキ
 - 二 強制執行ヲ受クルトキ
 - 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
 - 四 競賣ノ開始アリタルトキ
 - 五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ
 - 六 納稅人脫稅又ハ遁稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ
- 第四十七條 相續開始ノ場合ニ於テハ市町村稅、督促手数料、延滞金及滞納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收スヘシ但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ市町村稅、督促手数料、延滞金及滞納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス
- 法人合併ノ場合ニ於テハ合併ニ因リ消滅シタル法人ノ納付

スヘキ市町村税、督促手數料、延滞金及滞納處分費ハ合併後存続スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ヨリ之ヲ徵收スヘシ

第四十八條 共有物、共同事業、共同事業ニ因リ生シタル物件又ハ共同行為ニ係ル市町村税、督促手數料、延滞金及滞納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第四十九條 同一年度ノ市町村税ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一税目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第五十條 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納稅管理人ヲ定メ市町村長ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五十一條 徵稅令書、督促狀及滞納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス納稅管理人アルトキハ納稅ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限リ其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第五十二條 書類ノ送達ヲ受クヘキ者カ其ノ住所若ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ其ノ者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサルトキ若ハ共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送

達アリタルモノト看做ス

第五十三條 市町村ハ内務大臣及大藏大臣ノ指定シタル市町村税ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ市町村税ノ徵收ニ付テハ第四十三條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十四條 前條第一項ノ規定ニ依リ市町村税ヲ徵收セシムル場合ニ於テハ納稅人ハ其ノ税金ヲ徵收義務者ニ拂込ムニ依リテ納稅ノ義務ヲ了ス

第五十五條 第五十三條第一項ノ規定ニ依ル徵收義務者ハ徵收スヘキ市町村税ヲ市町村長ノ指定シタル期日迄ニ市町村ニ拂込ムヘシ、其ノ期日迄ニ拂込マサルトキハ市町村長ハ相當ノ期限ヲ指定シ督促狀ヲ發スヘシ

第五十六條 市町村ハ前條ノ徵收ノ費用トシテ拂込金額ノ百分ノ四ヲ徵收義務者ニ交付スヘシ

第五十七條 第五十三條第一項ノ規定ニ依ル徵收義務者避クヘカラサル災害ニ依リ既收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ税金拂込義務ノ免除ヲ市町村長ニ申請スルコトヲ得

市町村長前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付スヘシ市參事會又ハ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又

ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二項ノ決定ニ付テハ市町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ市町村長又ハ府縣知事ヨリモ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

市制第六十條第一項乃至第三項又ハ町村制第四百十條第一項乃至第三項ノ規定ハ第三項乃至第五項ノ訴願ニ之ヲ準用ス

第二項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第五十八條 第四十五條乃至第四十八條ノ規定ハ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ市町村税ヲ徵收セシムル場合ノ拂込金ニ之ヲ準用ス

第七章 市町村ノ監督

第五十九條 市町村行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲クルモノハ府縣知事之ヲ許可スヘシ

- 一 基本財産、特別基本財産、造林、傳染病豫防救済ニ關スル一時給與金、有給吏員ノ年功加俸、退職料、退職給與金、療治料、救助金、手當金、死亡給與金、弔祭料及

- 遺族扶助料並ニ市町村助役ノ定數増加、町村長及町村助役ノ有給、市町村副收入役ノ設置、委員ノ組織及學務委員ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 二 著シク人口ノ増減アリタルニ因リ議員ノ定數増減ニ關スル町村條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 三 浴場、共同宿泊所、病院、消毒所、住宅、產婆、胞衣及産穢物燒却場、市場、屠場、墓地、火葬場、棧橋、林野、土地、通船、用水、溜池其ノ他之ニ類スルモノノ管理及使用竝ニ其ノ使用料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 四 手數料又ハ加入金ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 五 特別稅段別割ヲ新設シ、増額シ又ハ變更スルコト及之ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト但シ大正九年勅令第二百八十二號又ハ大正十五年勅令第四百十三號ニ依リ府縣知事ニ於テ許可スル課稅ノ限度ヲ超エサルモノニ限ル
- 六 府縣ノ基金又ハ教育資金ヨリ借入ルル市町村債及市町村ニ轉貸ノ爲主務大臣ノ許可ヲ得テ借入レタル府縣債ノ收入金ヨリ借入ルル當該市町村債ニ關スルコト
- 七 小學校舎ノ建築、増築、改築等ニ關スル費用、傳染病豫防費、急施ヲ要スル災害復舊工事費ニ充ツル爲借入ル

ル市町村債ニ關スルコト但シ小學校舎ノ爲ニスル市町村債ニシテ償還期限十年度ヲ超ユルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

八 借入ノ翌年度ニ於テ償還スル市町村債ニ關スルコト但シ借入金ヲ以テ償還スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十條 市町村行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲クルモノハ其ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

一 耕地整理ノ爲市町村ノ境界ヲ變更スルコト但シ關係アル市町村會ノ意見ヲ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 所屬未定地ヲ市町村又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ニ編入スルコト但シ關係アル市町村會又ハ區會ノ意見ヲ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 公告式、印鑑、書類送達及建物證明、市町村ノ一部ノ區會又ハ區總會ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢スルコト

四 公會堂、公園、水族館、動物園、植物園、鑛泉、幼兒哺育場、商品陳列所、勸業館、農業倉庫、殺蛹乾燥場、種畜、牛馬種付所、斃獸解剖場、獸醫、上屋、荷揚場、貯木場、土砂採取場、石材採取場、動力農具ノ管理及使用竝ニ使用料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢スルコト

五 延滞金、積立金數等ニ關スル條例ヲ設ケ若ハ之ヲ改廢シ又ハ使用料、手数料、加入金、特別稅及委員ニ關スル

條例ヲ廢止スルコト

六 府縣費ノ全部ノ分賦ヲ受クル市ニ於テ特別稅特別地稅又ハ大正十五年勅令第三百三十九號第十七條第一項ニ掲クル種類ト同種類ノ特別稅ノ賦課ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト但シ特別稅特別地稅ニ付テハ大正十五年勅令第四百十三號ニ依リ府縣知事ニ於テ許可スル課稅ノ限度ヲ超ユルモノ及新ニ漁業ニ對シ特別稅ヲ賦課シ又ハ其ノ賦課率若ハ賦課方法ヲ變更スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

六ノ二 特別稅戶數割ヲ新設シ、増額シ又ハ變更スルコト及之ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト

七 三年度ヲ超エサル繼續費ヲ定メ又ハ其ノ年內ニ於テ之ヲ變更スルコト

八 繼續費ヲ減額スルコト

九 市町村債ノ借入額ヲ減少シ利息ノ定率ヲ低減スルコト

十 市町村債ノ借入先ヲ變更シ又ハ債券發行ノ方法ニ依ル市町村債ヲ其ノ他ノ方法ニ依ル市町村債ニ變更スルコト

十一 市町村債ノ償還年限ヲ短縮シ又ハ其ノ償還年限ヲ延長セスシテ低利借替ヲ爲シ若ハ繰上償還ヲ爲スコト但シ外資ニ依リタル市町村債ノ借替又ハ外資ヲ以テスル借替ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十二 市町村債ノ償還年限ヲ延長セスシテ不均等償還ヲ元

利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト

第八章 市制第六條ノ市ノ區

第六十一條 府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市條例ヲ設定シ新ニ區會ヲ設ケルコトヲ得

第六十二條 區内ニ住所ヲ有スル市公民ハ總テ區會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ市制第十一條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條 區會議員ノ選舉權ヲ有スル市公民ハ區會議員ノ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

第六十四條 區會議員ハ市ノ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ム但シ區員アルトキハ其ノ區員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ區員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付區長抽籤シテ解任スヘキ者

ヲ定メ區員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ區員ハ最モ先ニ區員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ區員ト爲リタル時同シキトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第六十五條 區會ノ組織及區會議員ノ選舉ニ關シテハ前數條ニ定ムルモノノ外市制第十三條、第十七條及第二十條乃至第三十九條竝ニ本令第七條乃至第二十條ノ規定ヲ準用ス但シ市制第十三條第四項ノ規定ノ準用ニ依ル市條例ノ設定ニ付テハ市ハ區會ノ意見ヲ徵スヘク、市制第三十三條及第三十四條ノ規定ノ準用ニ依ル報告ハ市長ヲ經テ之ヲ爲スヘシ

第六十六條 第三章及第四章ノ規定ハ市制第三十九條ノ二ノ區ノ區會議員選舉ニ之ヲ準用ス

第六十七條 區會ノ職務權限ニ關シテハ市會ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス

區長ト區會トノ關係ニ付テハ市長ト市會トノ關係ニ關スル規定及市制第九十二條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 區會ヲ設ケサル區ニ於テハ區會ノ職務ハ市會之ヲ行フ

第六十九條 市ハ區會ノ意見ヲ徵シ區ノ營造物ニ關シ市條例又ハ市規則ヲ設ケルコトヲ得

ス

第九章 雜則

市制第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

區ハ前二項ノ市條例ノ定ムル所ニ依リ區ノ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ過料ヲ科スルコトヲ得

第七十條 區ハ其ノ財産及營造物ニ關シ必要ナル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

前項ノ支出ハ區ノ財産ヨリ生スル收入、使用料其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ之ニ充テ仍不足アルトキハ市ハ其ノ區ニ於テ特ニ賦課徵收スル市稅ヲ以テ之ニ充ツヘシ前項ノ市稅ニ付市會ノ議決スヘキ事項ハ區會之ヲ議決ス但シ市ノ定メタル制限ヲ超ユルコトヲ得ス

市制第九十八條第四項ノ規定ニ依リ市ノ負擔スル費用ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第七十一條 前數條ニ定ムルモノノ外區ニ關シテハ市制第一百四十四條、第一百五條、第三百三條第二項乃至第六項、第三百三十一條第一項、第二項、第四項乃至第八項及第三百三十三條乃至第四百三十三條並ニ本令第一條乃至第四條ノ規定ヲ準用ス但シ第三百三十條第三項中市參事會トアルハ區會、第四百一十一條第二項中名譽職參事會員トアルハ區會議員トス前項ノ規定ニ依リ市制第三百三十一條第一項ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ市ハ區會ノ意見ヲ徵シ市條例ヲ定メ區ヲシテ手数料ヲ徵收セシムルコトヲ得

第七十二條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十三條 市町村組合又ハ町村組合ニ關シテハ第一條乃至第四條ノ規定ニ拘ラス組合規約ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 本令中府縣、府縣知事又ハ府縣參事會ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各北海道、北海道廳長官又ハ北海道參事會ニ、本令第一章中町村長又ハ町村條例ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各町村長又ハ町村條例ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

北海道二級町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ新ニ市ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市ノ市長之ヲ調製スヘシ

前項ノ選舉人名簿ニ關シ市制第二十一條乃至第二十一條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ北海道廳長官ニ於テ其ノ期日又ハ期間ヲ定ムヘシ但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

前項ノ規定ニ依リ期日又ハ期間ヲ定メタルトキハ北海道廳長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

市ノ區域ノ境界ニ涉リ北海道二級町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ市長ハ其ノ市ニ於ケル選舉人名簿中

新ニ町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ係ル部分ヲ抹消スヘシ

附則

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年勅令第二百四十號

明治四十四年勅令第二百四十一號

明治四十四年勅令第二百四十五號

明治四十四年勅令第二百四十八號

大正九年勅令第六十八號

大正十年勅令第四百十二號

從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

大正十年勅令第四百十二號第二條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得サルモノハ之ヲ本令第五十九條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス

大正十五年市制中改正法律又ハ同年町村制中改正法律中選舉ニ關スル規定ノ施行セラレタル市町村及未タ施行セラレサル市町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ右選舉ニ關スル規定ノ施行セラレザリシ市

町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市長之ヲ調製スヘシ、此ノ場合ニ於テハ大正十五年市制中改正法律附則第二項又ハ同年町村制中改正法律附則第四項ノ例ニ依ル

明治四十四年勅令第二百四十五號第四條又ハ大正九年勅令第六十八號第四條ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ裁決ニ對スル訴訟又ハ訴訟ノ提起期間ハ決定又ハ裁決アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

從前市町村長ニ爲シタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付セラレサルモノニ付テハ第五十七條第二項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

從前市參事會若ハ町村會ノ決定ニ付セラレタル申請又ハ府縣參事會ニ於テ受理シタル訴訟ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ決定又ハ裁決ナキモノニ付テハ第三十六條第三項並ニ第五十七條第二項及第六項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

本令ニ依リ初メテ區會議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ市制第二十一條乃至第二十一條ノ五ノ規定ノ準用ニ依リ期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年府縣制中改正法律中議員選舉ニ關スル規定若ハ同年市制中改正

ガ

キ

ク

ケ

コ

キ+
シ+
チ+
ニ+
ヒ+
ミ+
リ+
ギ+

ク+
ケ+
コ+
シ+
チ+
ニ+
ヒ+
ミ+
リ+
ギ+

ケ+
コ+
シ+
チ+
ニ+
ヒ+
ミ+
リ+
ギ+

ク
フ
ブ

一

三

四

五

六

七

八

九

〇

ク
フ
ブ

フ
イ
ギ

ク
フ
ブ

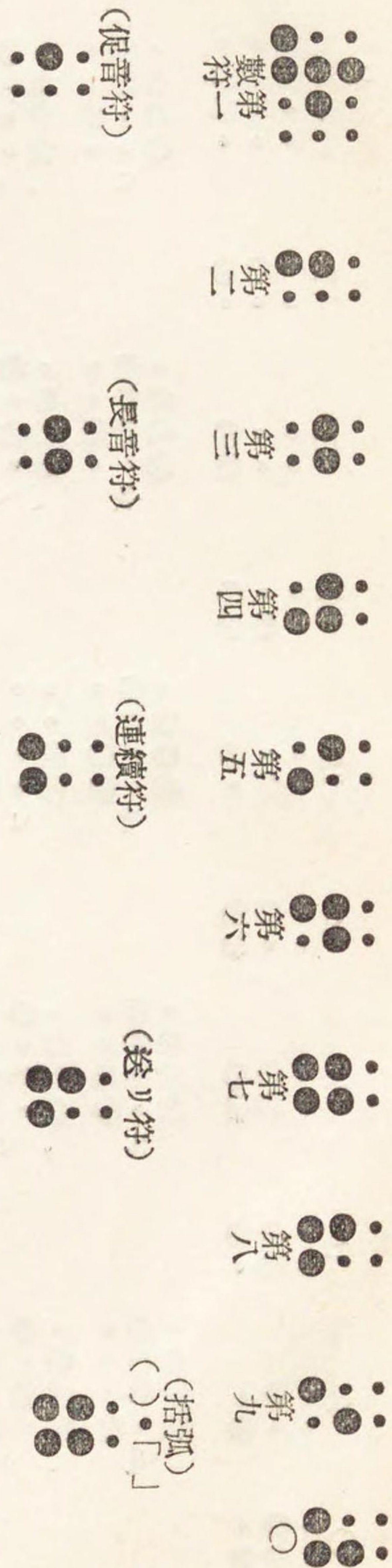
フ
ニ
エ

ク
フ
ブ

ジ+
ヂ+
ビ+
ビ+
ヂ+
ギ+

ジ+
ヂ+
ビ+
ビ+
ヂ+
ギ+

ジ+
ヂ+
ビ+
ビ+
ヂ+
ギ+



市制町村制施行規則

(大正十五年六月二十四日)
(内務省令第十九號)

沿革 昭和三年一月内務省令第三九號改正

市制町村制施行規則左ノ通定ム

市制町村制施行規則

第一章 市町村會議員ノ選舉

第一條 市制町村制ニ規定セル市區町村ノ人口ハ内閣ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ市區町村ノ廢置分合、境界變更ヲ爲シ又ハ所屬未定地ヲ市區町村ノ區域ニ編入シタルトキハ關係市區町村ノ人口ハ左ノ區別ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル但シ市區町村ノ境界變更又ハ所屬

未定地編入ノ地域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

一 市區町村若ハ數市區町村ノ全部ノ區域ヲ以テ一市區町村ヲ置キタル場合又ハ一市區町村若ハ數市區町村ノ全部ノ區域ヲ他ノ市區町村ノ區域ニ編入シタル場合ニ於テハ關係市區町村ノ人口又ハ之ヲ集計シタルモノ

二 前號以外ノ場合ニ於テハ當該市區町村ノ人口ヲ廢置分合又ハ境界變更アリタル日ノ現在ニ依リ府縣知事ノ調査シタル人口ニ按分シテ算出シタル當該地域ノ人口又ハ其ノ人口ヲ集計シタルモノ又ハ其ノ人口ヲ關係市區町村ノ人口ニ加算シ若ハ關係市區町村ノ人口ヨリ控除シタルモノ

三 所屬未定地ヲ市區町村ニ編入シタルトキハ編入ノ日ノ現在ニ依リ府縣知事ノ調査シタル其ノ地域ノ人口ヲ關係市區町村ノ人口ニ加算シタルモノ

四 前三號ノ規定ニ依ル人口ノ告示アリタル日以後ニ於テ

市區町村ノ廢置分合若ハ境界變更又ハ所屬未定地編入前ノ日ニ屬スル最近ノ人口ヲ内閣ニ於テ官報ヲ以テ公示アリタルトキハ更ニ其ノ公示ニ係ル人口ヲ基礎トシ前三號ノ規定ニ依リ算出シタルモノ

前項ノ規定ハ市區町村ノ境界確定シタル場合ニ之ヲ準用ス前三項ノ人口中ニハ部隊艦船及監獄内ニ在リタル人員ヲ含マス

第二條 市町村長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)投票立會人

(又ハ開票立會人)ヲ選任シタルトキハ直ニ之ヲ投票分會長(又ハ開票分會長)ニ通知スヘシ

第三條 市町村長必要アリト認ムルトキハ選舉會場入場券(又ハ投票分會場入場券)ヲ交付スルコトヲ得

選舉長(又ハ投票分會長)必要アリト認ムルトキハ到著番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第四條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第五條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第六條 選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ選舉會場(又ハ投票分會場)ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖ス

ヘシ

第七條 選舉長(又ハ投票分會長)ハ選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(又ハ選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シタル後投票用紙(假ニ投票ヲ爲サシムヘキ選舉人ニ對シテハ併セテ封筒)ヲ交付スヘシ

第八條 選舉人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第九條 投票ハ選舉長(又ハ投票分會長)及選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十條 選舉人投票前選舉會場(又ハ投票分會場)外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタルトキハ選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票用紙(交付シタル封筒アルトキハ併セテ封筒)ヲ返付セシムヘシ

第十一條 投票ヲ終リタルトキハ選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ選舉立會人(投票分會長)ニ於テハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人(之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ選舉長(又ハ投票分會長)之ヲ保管スヘシ

第十二條 投票函ハ其ノ閉鎖後選舉長(又ハ開票分會長)ニ送致ノ爲ノ外之ヲ會場外ニ搬出スルコトヲ得ス

第十三條 投票ヲ點檢スルトキハ選舉長ハ選舉會ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一被選舉人(市制第三十九條

ノ二ノ市ニ於テハ議員候補者以下之ニ同シノ得票数ヲ計算セシムヘシ

第十四條 前條ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ各被選舉人ノ得票数ヲ朗讀スヘシ

第十五條 前二條ノ規定ハ開票分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

開票分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ自ら開票ヲ行ヒタル部分ニ付各被選舉人ノ得票数ヲ朗讀シタル後開票分會毎ニ各被選舉人ノ得票数ヲ朗讀シ終リニ各被選舉人ノ得票数ヲ朗讀スヘシ

第十六條 選舉長(又ハ開票分會長)ハ投票ノ有效無効ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ選舉立會人(又ハ開票立會人)ト共ニ封印ヲ施スヘシ

受取スヘカラスト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セス前項ノ例ニ依リ封印ヲ施スヘシ

第十七條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ付テハ府縣制施行規則第五條、第七條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

第十八條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ付開票分會ヲ設ケタルトキハ選舉長ハ豫メ議員候補者ノ氏名、職業、住所、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ當該開票分會長ニ通知スヘシ、議員候補者議員候補者タルコトヲ辭シタル

トキ又ハ其ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第十九條 點字投票ナル旨ノ印ハ投票用紙及封筒ノ表面ニ之ヲ押捺スヘシ

第二十條 市町村會議員選舉人名簿及其ノ抄本ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十一條 選舉錄、投票錄及開票錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十二條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ關スル立會人タルヘキ者ノ届出書及之ニ添附スヘキ承諾書、議員候補者ノ届出書又ハ推薦届出書、議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書並ニ選舉運動ノ費用ノ精算届書ハ府縣制施行規則別記ニ定ムル各様式ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第二章 市町村吏員ノ事務引繼

第二十三條 市町村長更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ、後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ之ヲ助役ニ引繼クヘシ、此ノ場合ニ於テハ助役ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ之ヲ後任者ニ引繼クヘシ

前項引繼ノ場合ニ於テハ書類帳簿及財産ノ目録ヲ調製シ處分未濟若ハ未著手又ハ將來企畫スヘキ見込ノ事項ニ付テハ其ノ順序方法及意見ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條 助役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ

之ヲ市町村長ニ引繼クヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ事務引繼ニ之ヲ準用ス

第二十五條 收入役更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ、後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ之ヲ副收入役又ハ收入役代理者ニ引繼クヘシ、此ノ場合ニ於テハ副收入役又ハ收入役代理者ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ之ヲ後任者ニ引繼クヘシ

前項引繼ノ場合ニ於テハ現金書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ各目録ヲ調製シ仍現金ニ付テハ各帳簿ニ對照シタル明細書ヲ添附シ帳簿ニ付テハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者之ニ連署スヘシ

第二十六條 副收入役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ收入役ニ引繼クヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ事務引繼ニ之ヲ準用ス

第二十七條 第二十三條第二項、第二十四條第二項、第二十五條第二項及前條第二項ノ規定ニ依リ調製スヘキ書類帳簿及財産ノ目録ハ現ニ設備セル目録又ハ臺帳ニ依リテ引繼ヲ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ以テ充用スルコトヲ得、此ノ場合ニ於テハ其ノ旨引繼書ニ記載スヘシ

第二十八條 第二十三條又ハ第二十五條乃至前條ノ規定ハ市

制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ區收入役ノ更迭又ハ分掌事務アル區副收入役ノ退職ノ場合ニ、第二十四條及前條ノ規定ハ分掌事務アル町村區長ノ退職ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 市町村ノ廢置分合ニ依リ新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ前市町村ノ吏員ノ擔任スル事務ハ之ヲ市町村長、收入役又ハ市町村長ノ臨時代理者若ハ職務管掌ノ官吏ニ引繼クヘシ市町村ノ境界變更アリタルトキ亦同シ

第三十條 第二十三條乃至前條ノ場合ニ於テ所定ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ具シ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三十一條 第二十三條乃至第二十九條ノ場合ニ於テ引繼ヲ拒ミタル者ニ對シテハ府縣知事ハ二十五圓以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得、其ノ故ナク引繼ヲ遷延シタルカ爲市町村長ニ於テ期日ヲ指定シテ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル者ニ付亦同シ

第三十二條 第二十三條乃至前條ニ規定スルモノノ外市町村吏員ノ事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

第三章 市町村ノ財務

第三十三條 市町村稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經

費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ豫算ニ編入スヘシ

第三十四條 各年度ニ於テ決定シタル歳入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歳出ニ充ツルコトヲ得ス

第三十五條 歳入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
- 二 定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲テ納期ヲ定メタル收入又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ令書又ハ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 三 隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ市町村債、交付金、補助金、寄附金、請負金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第三十六條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル

契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル

支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三 市町村債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度

五 欠損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

六 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第三十七條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スヘシ但シ市町村條例ノ規定又ハ市町村會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セス之カ支出ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 市町村稅ハ徵稅令書ニ依リ夫役現品ハ賦課令書ニ依リ負擔金、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收シ其ノ他ノ收入ハ納付書ニ依リ收入スヘシ但シ市制町村制施行令第五十三條ノ規定ニ依リ徵收スル市町村稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役並ニ納額告知書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 支出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條 左ノ經費ニ付テハ市町村吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲

得ス

一 市町村債ノ元利支拂

二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲メ必要ナル經費

三 市町村外遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

特別ノ必要アルトキハ前項ノ資金前渡ハ市町村吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 前二條ニ掲クルモノノ外必要アルトキハ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ資金前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 歳入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フヘシ

歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、資金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第四十五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スヘシ前條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第四十六條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得

第四十七條 歳入歳出豫算ハ必要アルトキハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ別ツヘシ

歳入歳出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スヘシ

第四十八條 歳入歳出豫算ニハ豫算説明ヲ附スヘシ

第四十九條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ

第五十條 市町村歳入歳出豫算ハ別記市町村歳入歳出豫算樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五十一條 繼續費ノ年期及支出方法ハ別記繼續費ノ年期及支出方法樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五十二條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

豫算各項ノ金額ハ市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第五十四條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ附スヘシ

第五十五條 會計年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ府縣知事ノ許可ヲ得テ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第五十六條 市ハ其ノ歳入歳出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便

メ之ト引換ニ投票用紙(封筒)ヲ交付シタリ

住所氏名

十三 左ノ選舉人ハ選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ(喧擾ニ涉リ)(投票ニ關シ協議ヲ爲シ)(何々ヲ爲シ)選舉會場ノ秩序ヲ紊シタルニ依リ選舉長ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハサルヲ以テ投票用紙(到著番號札)ヲ返付セシメ之ヲ選舉會場外ニ退出セシメタリ

住所氏名

十四 選舉長ハ選舉會場外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ニ對シ選舉會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認メ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

選舉長ニ於テ選舉會場外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ハ最後ニ入場シテ投票ヲ爲シタリ

住所氏名

十五 午前(午後)何時ニ至リ選舉長ハ投票時間ヲ終リタル旨ヲ告ケ選舉會場ノ入口ヲ鎖シタリ

十六 午前(午後)何時選舉會場ニ在ル選舉人ノ投票結了シタルヲ以テ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

十七 投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其ノ内蓋ノ鑰ハ左ノ選舉

立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ選舉長之ヲ保管ス

氏名

十八 選舉會ニ於テ投票ヲ爲シタル選舉人ノ總數

何人

内

選舉人名簿ニ登錄セラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲シタル者

何人

確定裁決書(判決書)ニ依リ投票ヲ爲シタル者

何人

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數

何人

十九 各投票分會長ヨリ投票函等左ノ如ク到著セリ

第一(何々)投票分會ノ投票函ハ投票分會長職氏名及投票立會人氏名携帯シ何月何日午前(午後)何時著之ヲ檢スルニ異狀ナシ

第二(何々)投票分會ノ投票函何々

二十 大正何年何月何日選舉長ハ(總テ)投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ當日(翌日)午前(午後)何時ヨリ開票ヲ開始シタリ

二十一 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シタルニ左ノ如シ

投票總數 何票

投票人總數

何人

外

假ニ爲シタル投票數

何票

假ニ爲シタル投票人數

何人

投票總數ト投票人總數ト符合ス(投票總數ト投票人總數ト符合セス即チ投票總數ニ比シ何票多シ(少シ)(其ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載スヘシ)

二十二 投票分會ニ於テ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住所氏名

住所氏名

住所氏名

選舉長ハ右ノ投票ヲ調査シ選舉立會人左ノ通之ヲ決定シタリ(選舉長ハ右ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ決定ニ付シタルニ可否同數ナルニ依リ選舉長左ノ通之ヲ決定シタリ)

受理セシモノ

事由何々

住所氏名

事由何々

住所氏名

受理セサリシモノ

事由何々

住所氏名

二十三 選舉長ハ(假ニ爲シタル投票ニシテ受理スヘキモ

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

ノト決定シタル投票ノ封筒ヲ開披シタル上(總テ投票ヲ混同シ選舉立會人ト共ニ之ヲ點檢シタリ

内

一 有效ト決定シタルモノ

何票

一 無效ト決定シタルモノ

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

何票

二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

何票

三 、、、、、、

何票

(一)選舉立會人ノ決定ニ付シタルニ可否同數ナルニ依リ選舉長ニ於テ決定シタル投票數

内

一 有效ト決定シタルモノ

何票

一 無效ト決定シタルモノ

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ 何票
二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ 何票

(三)投票總數

一 有效ト決定シタルモノ 何票
一 無效ト決定シタルモノ 何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ 何票
二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ 何票

二十六

午前(午後)何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ選舉長ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタリ

二十七

各被選舉人ノ得票數左ノ如シ

何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票

二十八

選舉長ハ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效及受理スヘカラスト決定シタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定アリタル投票ニ在リテハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無效

ノ決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シ各之ヲ一括シ更ニ有效無效及受理スヘカラスト決定シタル投票別ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印シタリ

二十九

選舉長ハ選舉立會人立會ノ上逐次開票分會長ノ報告ヲ調査シ自ラ開票ヲ行ヒタル部分ニ付各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタル後開票分會毎ニ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各被選舉人ノ得票總數ヲ朗讀シタリ

三十

開票分會長ノ報告ノ結果ト選舉會ニ於テ爲シタル點檢ノ結果ト併セタル各被選舉人ノ得票總數左ノ如シ

三十一

議員定數何人ヲ以テ有效投票ノ總數何票ヲ除シテ得タル數ハ何票ニシテ此ノ六分ノ一ノ數ハ何票ナリ

被選舉人中其ノ得票數此ノ數ニ達スル者左ノ如シ

何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票 何票

右ノ内有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス

氏名

備考

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス
大正何年何月何日

選舉長 何府(縣)何市(町)何郡何町(村)長 氏名
選舉立會人 氏名

三十四 選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

官職 氏名

三十二 午前(午後)何時選舉事務ヲ結了シタリ

職 氏名

三十三 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタリ

職 氏名

但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同シキニ依リ其ノ年齡ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ(同年月日ナルヲ以テ選舉長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

氏名

投票錄樣式

大正何年何月何日 何府(縣)何市(町)何郡何町(村)會議員 選舉第一(何々)投票分會投票錄

一 投票分會ハ何市役所(何町(村)役場)(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ投票立會人ハ何レモ投票分會ヲ開クヘキ時刻迄ニ投票分會ニ參會シタリ

住所 氏名
住所 氏名

投票分會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ投票立會人中何人參會セサルニ依リ市(町)(村)長ハ臨時ニ投票分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

テ投票ヲ爲シタル者

何人

確定裁決書(判決書)ニ依リ投票ヲ爲シタル者

何人

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數

何人

内

假ニ投票ヲ爲サシメタル者

何人

二十 午前(午後)何時投票分會ノ事務ヲ結了シタリ

二十一 左ノ者ハ投票分會ノ事務ニ從事シタリ

職氏 名

職氏 名

二十二 投票分會場ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

官職氏 名

投票分會長ハ此ノ投票録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上投票立會

人ト共ニ茲ニ署名ス

大正何年何月何日

投票分會長

職氏 名

投票立會人

氏 名

氏 名

備考

一 市制第三十九條ノ二ノ市ニ於ケル投票録ハ府縣制施行規則第二十九條投票録様式ノ例ニ依リ之ヲ記載スヘシ

二 様式ニ掲ケル事項ノ外投票分會長ニ於テ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

開票録様式

大正何年何月何日 行何府(縣)何市(何郡何町(村))會議員

選舉第一(何々)開票分會開票録

一 開票分會ハ何市役所(何町(村)役場)(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ開票立會人ハ何レモ開票分會ヲ開クヘキ時刻迄ニ開票分會ニ參會シタリ

住所氏 名

住所氏 名

開票分會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ開票立會人中何人參會セサルニ依リ市(町)(村)長ハ臨時ニ開票分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

住所氏 名

住所氏 名

三 開票分會ハ大正何年何月何日午前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ

住所氏 名

住所氏 名

四 開票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時

何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ闕キ

タルニ依リ市(町)(村)長ハ臨時ニ開票分會ノ區劃内ニ

於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ午前

(午後)何時左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

住所氏 名

開票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時

何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタルモ尙開票立會人ハ

二人(三人)在リ其ノ闕員ヲ補フノ必要ナキヲ認メ其ノ

補闕ヲ爲ササル旨ヲ宣言シタリ

五 開票分會ノ區劃内ノ各投票分會長ヨリ投票函等左ノ如ク到着セリ

第一(何々)投票分會ノ投票函ハ投票分會長職氏名及投票

票立會人氏名携帶シ何月何日午前(午後)何時著之ヲ檢

スルニ異狀ナシ

第二(何々)投票分會ノ投票函何々

六 大正何年何月何日開票分會長ハ開票分會ノ區劃内ノ投票

分會長ヨリ投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ當日

(翌日)午前(午後)何時ヨリ開票ヲ開始シタリ

七 開票分會長ハ開票立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票

票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シタルニ左ノ如シ

投票總數

投票總數

投票人總數

何票

何人

外

假ニ爲シタル投票數

假ニ爲シタル投票人數

投票總數ト投票人總數ト符合ス(投票總數ト投票人總

數ト符合セス即チ投票總數ニ比シ何票多シ(少シ)(其

ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載スヘシ)

八 投票分會ニ於テ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票

票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住所氏 名

住所氏 名

開票分會長ハ右ノ投票ヲ調査シ開票立會人左ノ通之ヲ

決定シタリ(開票分會長ハ右ノ投票ヲ調査シ開票立會

人ノ決定ニ付シタルニ可否同數ナルニ依リ開票分會長

左ノ通之ヲ決定シタリ)

受理セシモノ

受理セサリシモノ

一事由何々

一事由何々

一事由何々

九 開票分會長ハ(假ニ爲シタル投票ニシテ受理スヘキモノ

ト決定シタル投票ノ封筒ヲ開披シタル上)總テノ投票

票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ之ヲ點檢シタリ

住所氏 名

住所氏 名

十 開票事務ニ従事スル職氏名及職氏名ノ二人ハ各別ニ同

一 被選舉人ノ得票数ヲ計算シタリ

十一 有效又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ

(一) 開票立會人ニ於テ決定シタル投票數

何票

内

一 有效ト決定シタルモノ

何票

一 無効ト決定シタルモノ

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

何票

二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ

何票

氏名ヲ記載シタルモノ

何票

三 、、、、、、、

何票

(二) 開票立會人ノ決定ニ付シタルニ可否同數

ナルニ依リ開票分會長ニ於テ決定シタル

投票數

何票

内

一 有效ト決定シタルモノ

何票

一 無効ト決定シタルモノ

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

何票

二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ

何票

氏名ヲ記載シタルモノ

何票

三 、、、、、、、

何票

(三) 投票總數

内

一 有效ト決定シタルモノ

何票

一 無効ト決定シタルモノ

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

何票

二 現ニ市(町(村))會議員ノ職ニ在ル者ノ

何票

氏名ヲ記載シタルモノ

何票

三 、、、、、、、

何票

十二 午前(午後)何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ開票分

會長ハ各被選舉人ノ得票数ヲ朗讀シタリ

十三 各被選舉人ノ得票数左ノ如シ

何票

何票

十四 開票分會長ハ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無効及受理ス

ヘカラスト決定シタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定ア

リタル投票ニ在リテハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無効ノ

決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シ各之ヲ一括

シ更ニ有效無効及受理スヘカラスト決定シタル投票

別ニ之ヲ封筒ニ入レ開票立會人ト共ニ封印ヲ施シタ

十五 午前(午後)何時開票分會ノ事務ヲ了シタリ

十六 左ノ者ハ開票分會ノ事務ニ從事シタリ

職 氏 名

職 氏 名

職 氏 名

官 職 氏 名

開票分會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

十七 開票分會長ハ此ノ開票録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上開票立會

人ト共ニ茲ニ署名ス

大正何年何月何日

開票分會長

職 氏 名

開票立會人

職 氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

備考 一 市制第三十九條ノ二ノ市ニ於ケル開票録ハ府縣制

施行規則第二十九條開票録様式ノ例ニ依リ之ヲ記

載スヘシ 二 様式ニ掲クル事項ノ外開票分會長ニ於テ開票ニ關

シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

市町村歳入歳出豫算様式

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

大正何年度何府(縣)何市(何郡何町(村))歳入歳出豫

算

歳入

一金

又ハ

一金

合計金

歳出

一金

又ハ

一金

合計金

歳入歳出差引

残 金(ナシ)

歳計剩餘金ヲ翌年度ニ繰越サスシテ基本財産ニ編入セント

スル場合ニハ左ノ通記載スヘシ

歳計剩餘金ハ全部基本財産ニ編入

又ハ

歳計剩餘金ノ内何歩基本財産ニ編入

歳入 豫算高

經常部豫算高

臨時部豫算高

合計金

歳出

歳出 豫算高

經常部豫算高

臨時部豫算高

合計金

歳入歳出差引

残 金(ナシ)

歳計剩餘金ヲ翌年度ニ繰越サスシテ基本財産ニ編入セント

スル場合ニハ左ノ通記載スヘシ

歳計剩餘金ハ全部基本財産ニ編入

又ハ

歳計剩餘金ノ内何歩基本財産ニ編入

大正何年度何府(縣)何市(何郡何町(村))歳入歳出豫算

科 目	款 項	歳 入	豫 算		豫 算		說 明	
			額	種 目	額	種 目		
一 財産ヨリ生ズル收 入	一 基本財産收入		圓		一 何々々	圓		
					二 何々々			圓
					一 何々々			
二 小學校(何學校) 基本財産收入			圓		一 何々々	圓		
					二 何々々			
					一 何々々			
三 何々々			圓		一 何々々	圓		
					二 何々々			
					一 何々々			
二 使用料及手數料	一 使用 用 料		圓		一 何々々	圓		
					二 何々々			
					一 何々々			

五 納 付 金	四 國庫下渡金				一 何々々		
					二 何々々		
					一 何々々		
					二 何々々		
三 交 付 金	一 國稅徵收交付金				一 何々々		
					二 何々々		
					一 何々々		
					二 何々々		
二 手 數 料					一 何々々		
					二 何々々		
					一 何々々		
					二 何々々		
三 水 利 組 合 費 徵 收 交 付 金					一 何々々		
					二 何々々		
					一 何々々		
					二 何々々		
四 義 務 教 育 費 下 渡 金					一 何々々		
					二 何々々		
					一 何々々		
					二 何々々		

六報償金		一納付金	一何々
一報償金		一何々	一何々
七國庫補助金		一水道費補助	一何々
二下水道費補助		一何々	一何々
三何々		一何々	一何々
八府(縣)補助金		一傳染病豫防費補助	一何々
二道路費補助		一何々	一何々
三何々		一何々	一何々

九寄附金		一何々
一 小學校(何學校)建築費指定寄附		一何々
二 道路修繕費指定寄附		一何々
三 何々		一何々
十繰入金		一何々
一 小學校(何學校)積立金繰入		一何々
二 基本財産繰入		一何々
三 水道經濟ヨリ繰入		一何々
四 何々		一何々
十一 財産賣拂代金		一何々

三需用費		二雜給		十一水道費		一給料		四修繕費		三需用費		二雜給	
二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々

十病院(何病院)費		三設備費		九汚物掃除費		二需用費		一雜給		四修繕費		一給料	
一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々

十二 下水道費											
一 雜給		二 需用費		三 修繕費		四 作業費		五 修繕費			
一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々
二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々
三	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	三	何々々

十三 屠場費

一 雜給

二 需用費

三 修繕費

十四 公園(何公園)費

一 雜給

二 需用費

三 修繕費

一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々
二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々
三	何々々	二	何々々	一	何々々	二	何々々	一	何々々	三	何々々

ヲ掲載スヘシ

八 市町村税中地租其ノ他ノ各税附加税ニ付テハ説明附記欄ニ其ノ本税額及課率ヲ掲載シ 仍特別税戸數割又ハ戸數割ヲ賦課セサル市町村ニ於テ戸數割ニ代ヘ賦課スル家屋税附加税ニ付テハ現在戸數及平均一戸當ノ金額ヲモ掲載スヘシ

九 歳出

イ 豫算説明ノ欄ニハ計算ノ基ク所ヲ明ナラシムルヲ旨トシ 種目ノ分別ニ付テハ特ニ注意スヘシ例ヘハ役所(役場)費(款)報酬(項)ノ説明ニ付テハ種目ハ「町(村)長報酬」、「市參與報酬」、「助役報酬」、「區長報酬」、「區長代理者報酬」、「委員(何委員)報酬」ノ類トシ其ノ各附記欄ニハ例ヘハ「町(村)長給料」、「市參與給料」、「助役給料」、「收入役給料」等ノ類トシ其ノ各附記欄ニハ例ヘハ「助役給料」ニ付テハ年俸又ハ月俸何圓幾人ノ類ヲ掲載スヘシ
ハ 雜給(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ「費用辨償」、「旅費」、「手當」、「給仕及使丁給」、「傭人料」、「賞與」、「退職料」、「退職給與金」、「死亡給與金」、「遺族扶助料」ノ類トシ其ノ各附記欄ニハ例ヘハ「費用辨償」ニ付テハ町(村)長何圓助役何圓ト掲載スヘシ

ニ 需用費(項)ニ對スル説明種目ノ欄ニハ「備品費」、「消耗品費」、「印刷費」、「通信運搬費」、「賄費」、「被服費」、「借家料」、「電燈費」、「電話費」、「雜費」ノ類トシ其ノ各附記欄ニハ例ヘハ「備品費」ニ付テハ何器具新調費何圓、何機械修繕費何圓、書籍購買代金何圓、又「消耗品費」ニ付テハ筆紙墨代金何圓、薪炭油茶代金何圓ノ類ヲ掲載スヘシ
十三 小學校(何學校)費、幼稚園(何幼稚園)費及圖書館(何圖書館)費ノ款ハ之ヲ合セテ教育費トシ其ノ項ハ之ヲ小學校(何學校)費、幼稚園(何幼稚園)費及圖書館(何圖書館)費トシ給料、雜給、需用費等ハ之ヲ説明種目ト爲スモ

十一 小町村ニ於テハ各款ノ下給料ト雜給、需用費ト修繕費トヲ合セテ各一項ト爲スモ妨ケナシ
十二 小學校費ヲ學校毎ニ區分シタル場合ニ於テ各校共通ノ費用アルトキハ別ニ一款ヲ設ケテ之ヲ掲載スヘシ
十三 小學校(何學校)費、幼稚園(何幼稚園)費及圖書館(何圖書館)費ノ款ハ之ヲ合セテ教育費トシ其ノ項ハ之ヲ小學校(何學校)費、幼稚園(何幼稚園)費及圖書館(何圖書館)費トシ給料、雜給、需用費等ハ之ヲ説明種目ト爲スモ

妨ケナシ

十四 諸税及負擔(款)ハ諸税(項)ト負擔(項)トニ分チ「諸税」ノ説明種目ハ「地租」、「地租附加税」、「水利組合費」ノ類トシ其ノ附記欄ニハ市(町)(村)有土地等ニ對スル分ヲ掲載シ又「負擔」ノ説明種目ハ「何町(村)外何ヶ村組合費負擔」ノ類トス
十五 雜支出ノ項ハ「滯納處分費」、「繰替金」、「過年度支出」ノ類其ノ他他ノ各款ニ屬セサル諸支出ヲ掲載スヘシ
十六 特ニ必要アルトキハ本様式ニ掲クル歳入歳出科目ノ外適宜ニ款項目ヲ設クルモ妨ケナシ
十七 市町村組合、町村組合ニ於テハ分賦法ニ依ルモノハ歳入科目「市町村税」ノ款ヲ「分賦金」トシ左ノ例ニ依ルヘシ

科	款	項	目	豫算		豫算			附記
				額	種	本年度	前年度	増減	
分賦金	一	何	市分賦金	圓	地租附加税	圓	圓	圓	
			町分賦金		何々				
			村分賦金		二				
三	何	村	分賦金		二				

科	款	項	大正何年度				計	種目	金額	附記	明
			年度	年度	年度	年度					
	一何費	一給與	圓	圓	圓	圓	一何々				
		二雜給					二何々				
		三需用費					一何々				
		四何々					二何々				
合	計						二何々				

記載例
一 繼續費ト爲ス費用ニ付特別會計ヲ設ケス又ハ特定ノ收入ナキ場合ニハ「繼續費何費支出計算表」トシ收入ノ部ハ之ヲ設クルヲ要セス

市制町村制改正經過規程

(大正十五年六月二十四日) 總、内、大
勅令 第二百十號 臣副署

朕市制町村制改正經過規程ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

市制町村制改正經過規程

第一條 従前ノ市制第十條第二項又ハ町村制第八條第二項ノ規定ニ依リ爲シタル市町村稅増課ノ處分ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第二條 大正十五年七月一日現ニ存任スル名譽職參事會員及其ノ補闕名譽職參事會員ノ任期ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第三條 市會ニ於テ市長候補者ヲ選舉推薦シ大正十五年六月三十日迄ニ裁可ヲ得サル場合ニ於テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第四條 市町村會ニ於テ市町村助役、市町村收入役又ハ市町村副收入役ヲ定メ又ハ選舉シ大正十五年六月三十日迄ニ認可ヲ得サル場合ニ於テハ同年七月一日市町村會ニ於テ之ヲ選舉シタルモノト看做ス

第五條 町村會ニ於テ町村長ヲ選舉シ大正十五年六月三十日迄ニ認可ヲ得サル場合ニ於テハ同年七月一日町村會ニ於テ之ヲ選舉シタルモノト看做ス

第五條 町村會ニ於テ町村長ヲ選舉シ又ハ市町村會ニ於テ市町村助役ヲ定メ若ハ選舉シタル場合ニ於テ従前ノ町村制第六十四條第一項又ハ市制第七十五條第二項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ爲シタル不認可ノ處分ニ不服アルモノアルトキハ仍従前ノ規定ニ依ル

第六條 市長又ハ市助役退職ノ認可ノ申請ヲ爲シ大正十五年六月三十日迄ニ認可ヲ得サル場合ニ於テハ同年七月一日市制第七十三條第三項又ハ第七十五條第三項ノ規定ニ依リ退職ノ申立ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條 市會ニ於テ市長又ハ市助役退職ノ申立ヲ爲シ大正十五年六月三十日迄ニ退職セサル場合ニ於テハ同年七月一日町村制第六十四條ノ規定ニ依リ退職ノ申立ヲ爲シタルモノト看做ス但シ同日ヨリ三十日以内ニ従前ノ規定ニ依ル期間ノ滿了ル場合ニ於テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第八條 市町村會ニ於テ市町村收入役故障アルトキ之ヲ代理スルニ認可ヲ得サル場合ニ於テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第九條 町村會ノ意見ヲ徵シタル場合ニ於テハ町村制第二百五條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ於テ町村會ノ意見ヲ徵シタルモノ

第十條 町村會ノ意見ヲ徵シタル場合ニ於テハ町村制第二百五條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ於テ町村會ノ意見ヲ徵シタルモノ

ト看做ス

第十條 従前ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル許可ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得サルモノハ新規定ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ要スル事項ニ限リ之ヲ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス
前項ノ規定ハ従前ノ町村制第七十四條第六項ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル處分ノ申請又ハ従前ノ町村制第七十五條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル指揮ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十一條 従前ノ町村制第六條第五項ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ裁決ナキモノハ之ヲ町村制第六條第五項ノ規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル訴願ト看做ス

第十二條 従前ノ市制第五十四條第一項又ハ町村制第三百十四條第一項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ爲シタル處分ニ對スル訴願ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第十三條 従前ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分又ハ裁決ニ關スル訴願ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル、此ノ場合ニ於テハ訴願ノ提起ハ處分又ハ裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スルコトヲ要セス
前項ノ訴願ノ裁決ニ對スル訴願及訴訟ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

第十四條 従前市町村長ニ申立テタル異議ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付セラレサルモノニ付テハ市制第七條第二項若ハ第三百三十條第三項又ハ町村制第八十七條第二項若ハ第一百十條第三項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

第十五條 従前市町村組合又ハ町村組合ノ管理者ニ申立テタル異議ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ組合會ノ決定ニ付セラレサルモノニ付テハ市制第五十五條第三項又ハ町村制第三百三十五條第三項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

第十六條 従前市參事會、町村會若ハ市町村組合町村組合ノ組合會ノ決定ニ付セラレタル異議又ハ府縣參事會ニ於テ受理シタル訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ決定又ハ裁決ナキモノニ付テハ市制第六十條ノ二又ハ町村制第四百十條ノ二ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

第十七條 本令中郡長ニ關スル規定ハ島司ニ之ヲ適用ス
附則
本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●町村制暫行特例

(大正十五年六月二十四日) 總、内、大勅令 第二百九號 臣副署

朕町村制暫行特例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

●町村制暫行特例

第一條 本令ハ大正十五年町村制中改正法律附則第三項ノ規定ニ依ル特例ヲ定ムルモノトス

第二條 町村制第十四條、第十七條第一項、第十八條第十三項及第三十一條ノ規定ニ依リ郡長ノ職務權限ハ府縣知事之ヲ行フ

第三條 府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ町村制第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得
前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

第四條 本令ニ依ル異議、訴願及訴訟ニ付テハ町村制第三十六條及第四百十條ノ例ニ依ル

第五條 本令中郡長ニ關スル規定ハ島司ニ之ヲ適用ス
附則

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

町村制第十四條ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル許可ノ申請ハ之ヲ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス

町村制第三十三條第三項ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得、此ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ二十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

●市制町村制中改正附則及市制町村制施行令附則ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件

(大正十五年六月二十四日) 內務省令 第二十二號

市制中改正法律附則第二項、町村制中改正法律附則第四項及市制町村制施行令附則第九項ノ規定ニ依ル命令ニ關スル件左ノ通定ム

大正十五年市制中改正法律又ハ同年町村制中改正法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ市制第二十一條乃至第二十二條ノ五又ハ町村制第十八條乃至第

十八條ノ五ノ規定ニ依ル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ府縣知事(北海道ニ於テハ北海道廳長官)ニ於テ其ノ期日又ハ期間ヲ定ムヘシ

前項ノ規定ハ市制町村制施行令附則第九項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

第二章 府縣制度

府縣制

(明治三十二年三月十六日) 總、内、大法律第六十四號 臣副署

沿革 明治四一年二月法律第二號、大正三年四月第三五號、

一一年四月第五五號、一五年六月第七三號改正

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル府縣制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

公布セシム

府縣制

第一章 總則

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員ノ組織及任免

第二款 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第五章 府縣ノ財務

第一款 財產營造物及府縣稅

第二款 歲入出豫算及決算

第六章 府縣行政ノ監督

第七章 附則

府縣制

第一章 總則

第一條 府縣ハ從來ノ區域ニ依リ市町村及島嶼ヲ包括ス

第二條 府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律命令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ涉リテ市町村境界ノ變更アリタルトキハ府縣ノ境界モ亦自ラ變更ス所屬未定地ヲ市町村ノ區域ニ編入シ

タルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル府縣參事會及市町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第四條 府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ市ノ區域又ハ從前郡長若ハ島司ノ管轄シタル區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル每ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル每ニ一人ヲ増ス

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第六條 府縣内ノ市町村公民ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令

ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

市町村公民權停止中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

在職ノ檢察、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

府縣ノ官吏及有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ府縣ノ府縣會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

衆議院議員ハ府縣會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八條 府縣會議員中副員ヲ生シタルトキハ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ副員ト爲リタル議員カ第三十一條第二項、第三項若ハ第六項ノ規定ニ依ル期限前ニ於テ副員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ於テ副員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十二條第三項ノ規定ヲ準用ス

第三十二條第四項及第五項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九條 府縣會議員ノ選舉ハ其ノ府縣内ニ於ケル市町村會議員選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ

町村制第三十八條ノ町村ニ於テハ同法第十八條乃至第十八條ノ五ノ規定ニ準シ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

前項ノ選舉人名簿ハ之ヲ町村會議員選舉人名簿ト看做シ第一項ノ規定ヲ適用ス

第十條乃至第十二條 (削除)

第十三條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選舉ノ期日前二十日目マテニ之ヲ發スヘシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府縣知事ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ投票ノ期日前七日目マテニ之ヲ告示スヘシ

第十三條ノ二 議員候補者タラムトスル者ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前七日目マテニ其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ツヘシ

選舉人名簿ニ登録セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サムトスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後

議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選舉ノ期日ノ前日マテ議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ス

前四項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十三條ノ三 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲サムトスル者ハ議員候補者一人ニ付二百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

議員候補者ノ得票數其ノ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達セサルトキハ前項ノ供託物ハ府縣ニ歸屬ス

議員候補者選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 市町村長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第十五條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

投票所ハ市役所、町村役場又ハ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

投票管理者ハ選舉ノ期日前五日目マテニ投票所ヲ告示スヘシ

府縣知事特別ノ事情アリト認ムルトキハ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ投票區ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 議員候補者ハ各投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ投票立會人一人ヲ定メ選舉ノ期日ノ前日マテニ投票管理者ニ届出ツルコトヲ得但シ議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出テタル投票立會人ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ニ依ル投票立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ投票立會人ニシテ參會スル者投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スルマテノ投票立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ投票立會人ハ名譽職トス

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第十七條 選舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第十八條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル
選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ投票所ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得
選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ
投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ前住所地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

第三十二條第一項若ハ第三十六條ノ選舉又ハ補選選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第十八條ノ二 確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレルトト得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

同府縣内ニ於ケル二以上ノ市町村ニ於テ公民權ヲ有スル者ハ住所地市町村ニ於テノミ投票ヲ爲スコトヲ得

第十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第二十條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第二十一條 投票管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日マテニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第二十二條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十三條 選舉長ハ市長又ハ府縣知事ノ指定シタル官吏ヲ以テ之ニ充ツ

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

選舉會ハ市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第二十三條ノ二 府縣知事特別ノ事情アリト認ムルトキハ區劃ヲ定メテ開票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 第十六條ノ規定ハ選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第二十五條 選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ但シ場合ニ依リ投票函ノ送致ヲ受ケタル日選舉會ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票區毎ニ投票ヲ點檢スヘシ天災事變等ノ爲選舉會ヲ開クコトヲ得サルトキハ選舉長ハ更ニ其ノ期日ヲ定ムヘシ

第二十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十六條ノ二 選舉會場ノ取締ニ付テハ第十七條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十七條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ

八 府縣會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第八號ノ規定ハ第八條、第三十二條又ハ第三十六條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限り之ヲ適用ス

第二十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第二十九條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十九條ノ二 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第三十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十九條ノ三 第十三條ノ二第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エサルトキハ其ノ選舉區ニ於テハ投票ヲ行ハス

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ投票管理者ニ通知シ併セテ之ヲ告示シ且府縣知事ニ報告スヘシ

投票管理者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選者ト定ムヘシ
前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第三十條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄、投票錄、投票其ノ他ノ關係書類ハ選舉長（府縣知事ノ指定シタル官吏選舉長タル場合ニ於テハ府縣知事）ニ於テ、府縣會議員選舉ニ用キタル選舉人名簿ハ市町村長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第三十一條 當選者定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄及投票錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ
當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ

承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ
一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

前二項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第六項ニ掲クル在職ノ官吏以外ノ官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

府縣ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第三十一條ノ二 選舉長ハ前條第一項ノ報告ヲ爲シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ町村長ニ返付スヘシ

第三十二條

當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スルトキハ三箇月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ第二項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 數選舉區ニ於テ選舉ニ當リタル場合ニ於テ第三十一條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ選舉ニ應シタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三 第二十九條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 死亡者ナルトキ

五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選舉又ハ補闕選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

六 第三十四條ノ二ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

前項ノ事由第三十一條第二項、第三項若ハ第六項ノ規定ニ依ル期限前ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ生シタル場合ニ於テ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ
前項ノ場合ニ於テ第二十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當

選者ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ第三十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ期間ハ第三十四條第七項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六箇月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定員ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ府縣知事ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十四條 選舉人又ハ議員候補者選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條第一項又ハ前條第二項ノ告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議申立アリタルトキハ府縣知事ハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

府縣知事選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日

ヨリ三十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得
前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日
ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ
本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴ス
ルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事又ハ選舉長ヨリモ亦訴訟ヲ
提起スルコトヲ得

第八條、第三十二條又ハ第三十六條第一項若ハ第三項ノ選
舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異
議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコト
ヲ得ス

府縣會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決ア
ルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條ノ二 衆議院議員選舉法第十條ノ規定ノ準用ニ
依リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ選舉人又ハ議員候補者
ハ當選者ヲ被告トシ第三十一條第一項告示ノ日ヨリ三十日
以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

衆議院議員選舉法第三十六條ノ規定ノ準用ニ依リ選舉事
務長カ同法第一百二十二條又ハ第一百三十三條ノ規定ノ準用ニ依
ル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルニ因リ當選ヲ無効ナリト認ムル
トキハ選舉人又ハ議員候補者ハ當選者ヲ被告トシ其ノ裁判
確定ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

前二項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコト
ヲ得

衆議院議員選舉法第八十五條、第八十七條及第四百十一條
ノ規定ハ前三項ノ規定ニ依ル訴訟ニ之ヲ準用ス

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結
果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ
一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分
シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第三十六條 選舉無効ト確定シタルトキハ三箇月以内ニ更ニ
選舉ヲ行フヘシ

當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者
ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十二條第三項ノ規定ヲ準
用ス

當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其
ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セ
サルニ至リタルトキハ三箇月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ
第三十二條第四項及第五項ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ
之ヲ準用ス

第三十七條 府縣會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ
第三十二條第七項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ
被選舉權ノ有無又ハ第三十一條第七項ニ掲クル者ニ該當ス
ルヤ否ハ府縣會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選

舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外府縣參事會其ノ異議ヲ決定
ス

一 禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ

二 破産者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ
府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲被選舉權ヲ失フコトアルモ
其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之ヲ爲其ノ職ヲ失フコトナ
シ但シ同府縣内ニ於テ住所ヲ移シタル後被選舉權ヲ失フヘ
キ其ノ他ノ事由ニ該當スルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラ
ス

府縣會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者又ハ第三十
一條第七項ニ掲クル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ
通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明
スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス
府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ之ヲ府
縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ被選舉權ヲ有セ
サル者又ハ第三十一條第七項ニ掲クル者アリト認ムルトキ
亦同シ

第三十四條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴ス
ルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコ
トヲ得

府縣會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ
判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十八條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ
決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第
十章及第十一章並第四百十條第二項及第四百四十二條ノ規定
ヲ準用ス但シ議員候補者一人ニ付定ムヘキ選舉事務所ノ
數、選舉委員及選舉事務員ノ數並選舉運動ノ費用ノ額ニ關
シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第四十條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關ス
ル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十一條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料府縣稅及
夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事
- 五 積立金數等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔

ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

八 其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

第四十二條 府縣會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十三條 府縣會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第四十四條 府縣會ハ府縣ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府縣知事若ハ内務大臣ニ呈出スルコトヲ得

第四十五條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

府縣會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ府縣會招集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第四十七條 府縣會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長副議長長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ八年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス

年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條 府縣知事及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十條 府縣會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限り之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第五十一條 府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日前十四日目マテニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第五十二條 府縣會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十三條 府縣會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ府縣會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條 法律命令ノ規定ニ依リ府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外一名毎ニ無記名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ八年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ八年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第十八條及第二十七條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

第一項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ基ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用ウルコトヲ得

第五十六條 府縣會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

一五五

二 議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員定員ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十八條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十八條 府縣會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議

ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第四十九條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第六十二條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十三條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六十四條 府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ
會議規則ニハ此ノ法律並會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ府縣會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第六十五條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員十人ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ
前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中闕員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依ル仍闕員アル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ隔年之ヲ選舉スヘシ
名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ルマテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

名譽職參事會員ハ其ノ選舉ニ關スル第八十二條第一項ノ處分確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス
第六十七條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十八條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決スル事

三 (削除)

四 府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 府縣ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十九條 府縣參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ府縣ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ府縣知事又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第七十條 第四十四條第四十五條第四十九條第五十一條第三項第五十五條第五十七條第一項及第六十二條ノ規定ハ府縣參事會ニ之ヲ準用ス

第七十一條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス若名譽職參事

會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

府縣參事會ノ會期ハ府縣知事之ヲ定ム

第七十二條 府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十三條 府縣參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サンハ會議ヲ開クコトヲ得ス

府縣參事會ノ議事ハ名譽職參事會員ノ過半數ヲ以テ決ス可
否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第七十四條 第五十四條ノ規定ハ議長、其ノ代理者及名譽職參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十六條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ闕員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員ノ組織及任免

第七十五條 府縣ニ有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得

前項ノ府縣吏員ハ府縣知事ノヲ任免ス

第七十六條 府縣ニ府縣出納吏ヲ置キ官吏員ノ中ニ就キ府縣知事ノヲ命ス

第七十七條 府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事ノヲ定ム

第二款 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

第七十八條 府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス

府縣知事ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事

二 府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事

三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

五 證書及公文書類ヲ保管スル事

六 法律命令又ハ府縣會若ハ府縣參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料府縣稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事項

第七十九條 (削除)

第八十條 府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ市町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ府縣ノ官吏員ニ委任シ又ハ府縣吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十一條 府縣知事ハ府縣吏員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

府縣知事ハ府縣吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ府縣ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セララルコトヲ得ス

第八十二條 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ超エ又ハ法律命令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項ノ取消處分ハ府縣會又ハ府縣參事會開會中ニ非サルトキハ之ヲ告示スヘシ

第一項ノ取消處分ニ不服アル府縣會若ハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十三條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ府縣ノ收支ニ關シ不當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ內務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第八十四條 府縣知事ハ期日ヲ定メテ府縣會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十五條 府縣會若ハ府縣參事會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第五十四條第七十四條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

府縣參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル府縣知事ノ處分ニ關

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ府縣會若ハ府縣參事會ニ報告スヘシ

第八十六條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ府縣參事會ニ報告スヘシ

第八十七條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ府縣知事ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第八十八條 官吏ノ府縣行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第八十九條 府縣出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第九十條 府縣吏員ハ府縣知事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第九十一條 委員ハ府縣知事ノ指揮監督ヲ承ケ財産若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他府縣行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第九十二條 府縣ノ事務ニ關スル處務規程ハ府縣知事ノヲ定ム

第三款 給料及給與

第九十三條 有給府縣吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法

ハ府縣知事之ヲ定ム

第九十四條 府縣會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得
費用辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第九十五條 有給府縣吏員ノ退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ前條第二項ノ例ニ依リテ之ヲ定ム

第九十六條 退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府縣知事ハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十七條 給料旅費退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ府縣ノ負擔トス

第五章 府縣ノ財務

第一款 財產營造物及府縣稅

第九十八條 府縣ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第九十九條 府縣ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財產ノ使

用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百條 本法中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手數料ニ關スル細則ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第一百一條 府縣ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 府縣ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令又ハ從來ノ慣例ニ依リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第一百三條 府縣稅及其ノ賦課徵收方法ニ關シテハ法律ニ規定アルモノヲ除ク外勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百四條 府縣内ニ住所ヲ有スル者ハ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百五條 三箇月以上府縣内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ廻リ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百六條 府縣内ニ住所ヲ有セス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖府縣内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ府縣内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百七條 納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地

家屋物件若ハ其ノ收入又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得

住所滞在同時ニ府縣ノ内外ニ涉ル者ノ前項以外ノ收入ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ各府縣ニ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第一百八條 府縣ノ内外ニ涉ル營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係府縣ニ於テ營業稅附加稅所得稅附加稅又ハ礦產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係府縣知事協議ノ上其ノ歩合ヲ定ム若協議調ハサルトキハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

礦區又ハ砂鑛區カ府縣ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛區稅又ハ砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ鑛區又ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ本稅額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第一百九條 府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ハ府縣會ノ議決ニ依リ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

市町村會ニ於テ府縣會ノ議決ニ依リ定マリタル期限内ニ其ノ議決ヲ爲ササルトキ若ハ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第一百十條 府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノニ關シテハ法律勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノヲ除ク外市町村稅ノ

例ニ依ル

府縣ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ府縣稅ヲ課セサルコトヲ得

第一百一條 府縣ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ府縣ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ府縣ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 府縣ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ府縣内一部ノ市町村其ノ他公共團體若ハ一部ノ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ
夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一百三條 府縣稅ノ減免若ハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アル者ニ限り府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

第一百四條 詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ府縣稅ヲ遁脱シタル者ニ付テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ徵收ヲ免レ又ハ遁脱シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過

料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ニ定ムルモノヲ除外使用料、手數料及府縣稅ノ賦課徵收ニ關シテハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財產又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

過料ヲ科シ及之ヲ徵收スルハ府縣知事之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百十五條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ交付

後三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百十三條第二項ノ場合ニ於テ市町村ハ府縣費ノ分賦ニ關シ

違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府縣知事ハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

使用料及手數料ノ徵收並夫役及現品ノ課賦ニ關シテモ亦第一項及第三項ノ例ニ依ル

本條ノ決定ニ關シテハ府縣知事、其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員又ハ市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十六條 府縣稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該行政廳ハ日出ヨリ日没マテノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營

業時間家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

府縣稅、使用料、手數料、夫役又ハ現品ニ代フル金錢、過料其ノ他ノ府縣ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

急迫ノ場合ニ於テ夫役又ハ現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ履行ヲ爲ササルトキハ更ニ之ヲ金額ニ換算シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

第二項ノ規定ニ依ル督促又ハ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限マテニ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スヘシ

第二項及第三項ニ規定スル府縣ノ徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國ノ徵收金ニ次クモノトス

府縣ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ニ付テハ國ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

府縣知事ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員カ第四項ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四項ノ規定ニ依ル處分ニ係ル差押物件ノ公賣ハ處分ノ確

定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第百十七條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スニ付府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

府縣ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス府縣參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歲入出豫算及決算

第百十八條 府縣知事ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前府縣會ノ議決ヲ經ヘシ

府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ財產表ヲ提出スヘシ

第百十九條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第百二十條 府縣費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十一條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコ

トヲ得ス

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

第百二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百二十四條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシ

決算ハ之ヲ內務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十五條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ內務大臣ノヲ定ム

第百二十六條 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章ノ二 府縣組合

第百二十六條ノ二 府縣ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ規約ヲ定メ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣組合ヲ設クルコトヲ得

府縣組合ハ法人トス

第百二十六條ノ三 府縣組合ノ規約ニハ其ノ名稱組合ヲ組織スル府縣組合ノ共同事務組合ノ組織事務ノ管理費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

府縣組合ノ事務ハ內務大臣ノ指定シタル府縣知事之ヲ管理

ス

第二百二十六條ノ四 府縣組合ノ組合府縣數ヲ増減シ共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セムトスルトキ又ハ府縣組合ヲ解カムトスルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ財産處分ヲ要スルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十六條ノ五 前三條ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二百二十六條ノ六 公益上必要アル場合ニ於テハ内務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財産處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十六條ノ七 府縣組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外府縣ニ關スル規定ヲ準用ス但シ府縣組合ニハ參事會ヲ置カス其ノ權限ニ屬スヘキ事項ハ組合事務ヲ管理スル府縣知事之ヲ行フ

第六章 府縣行政ノ監督

第二百二十七條 府縣ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百二十八條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ第八十二條第二項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタル場合ニ於テハ告示ノ日ヲ以テ處分ヲ受ケタル日ト看做ス

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セズ但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十八條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除ク外其ノ決定ニ付セラレタル日ヨリ三箇月以内ニ之ヲ爲スヘシ

府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三箇月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

第二百二十九條 内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之ヲ爲

行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

内務大臣ハ府縣行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第二百三十條 内務大臣ハ府縣ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第二百三十一條 内務大臣ハ勅裁ヲ經テ府縣會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

府縣會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ府縣會ヲ招集スルトキハ府縣知事ハ第五十條第二項ノ規定ニ拘ラス内務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第二百三十二條 府縣吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

第二百三十三條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 (削除)
- 二 使用料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 三 (削除)
- 四 第一百十一條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ府縣ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト
- 五 (削除)

六 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

七 (削除)

第二百三十四條 府縣債ヲ起シ又ハ起債ノ方法利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第二百三十五條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第二百三十六條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スルコトヲ得

第七章 附則

第二百三十七條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム (明治四十二年四月一日ヨリ沖繩縣ニ府縣制施行同年三月二十四日官報參看)

第二百三十八條 島嶼ニ關スル府縣ノ行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

町村制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

沖繩縣ニ於テハ第十三條中二十日トアルハ三十日、七日トアルハ十日、第十五條中五日トアルハ十日、第三十一條中十日トアルハ二十日、二十日トアルハ三十日、第三十四條及第五十一條中十四日トアルハ二十五日トス

第三百三十九條 町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ、町村吏員ニ關スル規定ハ町村吏員ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

第三百三十九條ノ二 第四十九條及第七十六條ノ規定ニ依ル府縣知事ノ職權ハ東京府ニ在リテハ警視總監亦之ヲ行フ

第四百十條 從前都市經濟ヲ異ニシタル府縣ノ財産處分ニ關スル規定ハ內務大臣之ヲ定ム

特別ノ事情アル府縣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ市郡部ノ經濟ヲ分別シ市郡部會郡部會市郡部參事會郡部參事會ヲ置キ其ノ他必要アル事項ニ關シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四百十一條 明治二十三年法律第八十八號府縣稅徵收法及地方稅ニ關スル從前ノ規定ハ此ノ法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルマテ其ノ效力ヲ有ス

第四百十二條 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

第四百十三條 第四條第二項但書ノ市ニ於テハ第二章第一款中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス

第四百十四條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合吏員ハ之ヲ町村吏員、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第四百十五條 從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域内ニ於テ市ノ設置アリタルトキ又ハ其ノ區域ノ境界ニ涉リテ市町村ノ境界ノ變更アリタルトキハ其ノ區域モ亦自ラ變更シタルモノト看做ス

從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ノ境界ニ涉リテ町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付其ノ町村ノ屬スヘキ區域ハ內務大臣之ヲ定ム

第四百十六條 明治十三年第十五號布告府縣會規則明治十四年第八號布告區郡部會規則明治二十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル法規ハ此ノ法律施行ノ府縣ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第四百十七條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (大正十一年法律第五十五號) 本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他

ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十一年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ同年同月十五日ヨリ施行)

大正十年法律第五十八號又ハ法律第五十九號中公民權ニ關スル規定ハ之ヲ施行セサル市町村ニ於テハ府縣制中市町村公民ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第九條乃至第十二條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

附 則 (大正十五年法律第七十三號)

本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十五年六月勅令第二百三號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

次ノ總選舉ニ至ルマテノ間從前ノ第九條、第十二條、第十四條、第二十一條、第二十三條乃至第二十五條、第三十條及第三十四條ノ規定ニ依リ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

大正十五年市制中改正法律又ハ町村制中改正法律中公民權ニ關スル規定ハ之ヲ施行セサル市町村ニ於テハ府縣制中市町村公民ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ議員ノ選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

大正十五年市制中改正法律又ハ町村制中改正法律中公民權ニ關スル規定ハ之ヲ施行シタル市町村ニ於テハ府縣制中市町村公民ニ關スル規定ノ適用ニ付次ノ總選舉ニ至ルマテノ間未タ之ヲ施行セサルモノト看做ス

本法施行ノ際大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

府縣制施行令

(大正十五年六月二十四日) 總、內、大勅令 第二百號 臣副署

沿革 昭和二年三月勅令第三六號改正

府縣制施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣制施行令

第一章 府縣會議員ノ選舉

第一條 府縣制第六條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ學生生徒左ノ如シ

一 陸軍各部依託學生生徒

二 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造船機學生造船兵學生並ニ海軍豫備生徒及海軍豫備練習生

第二條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ市町村ノ區域ヲ

分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタルトキハ府縣知事ハ直ニ其ノ區劃ヲ告示スヘシ

第三條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一 投票管理者ハ投票區ノ一ニ於テハ市町村長トシ其ノ他ノ投票區ニ於テハ市町村長ノ指定シタル市町村吏員ヲ以テ之ニ充ツ

二 市町村長ハ選舉人名簿ニ依リ投票區(市町村長投票管理タル投票區ヲ除ク)毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製シ選舉ノ期日ノ告示アリタルトキハ直ニ之ヲ關係投票管理者ニ送付スヘシ

三 市町村長ノ指定シタル市町村吏員投票管理者タル投票區ニ於テハ府縣制第十八條第三項及第二十一條並ニ本令第八條中選舉人名簿トアルハ選舉人名簿ノ抄本トス

四 選舉人名簿ノ抄本ハ市町村長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第四條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一 投票管理者ハ府縣知事ニ於テ關係町村長ノ中ニ就キ之ヲ指定ス

二 町村長ハ選舉ノ期日ノ告示アリタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スヘシ

三 町村費ヲ以テ支辨スヘキ投票所ノ費用ハ之ヲ關係町村ニ平分スヘシ

第五條 府縣制第十八條第七項ノ規定ニ依リ盲人カ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ市制町村制施行令別表ノ定ムル所ニ依ル

點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル選舉人ハ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ、此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ府縣制第十九條ノ例ニ依ル、此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ府縣制第二十五條第二項及第三項ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第十九條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第六條 府縣制第二十三條ノ二ノ規定ニ依リ開票區ヲ設ケタルトキハ府縣知事ハ直ニ其ノ區劃ヲ告示スヘシ

第七條 開票管理者ハ府縣知事ノ指定シタル官吏又ハ吏員ヲ以テ之ニ充ツ

開票管理者ハ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

開票所ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ

開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第八條 開票區ノ區劃内ノ投票管理者ハ其ノ指定シタル投票

立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ

開票管理者ニ送致スヘシ

第九條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第十條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ開票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票録及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第十一條 開票管理者ハ第九條ノ報告ヲ爲シタルトキハ直ニ選舉人名簿(選舉人名簿ノ抄本アルトキハ併セテ其ノ抄本)ヲ町村長ニ返付スヘシ

第十二條 選舉長ハ總テノ開票管理者ヨリ第九條ノ報告ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日(又ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日)選舉會ニ於テ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査シ府縣制第二十五條第三項ノ規定ニ依リ爲シタル點檢ノ結果ト併セテ各議員候補者ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十三條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準シ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各議員候補者ノ得票總數ト併セテ其ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十四條 開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ府縣制第

三十一條第一項ノ報告ニ開票録ノ寫ヲ添附スヘシ

第十五條 第四條第一號若ハ第七條第一項又ハ府縣制第二十三條第一項ノ規定ニ依リ投票管理者、開票管理者又ハ選舉

長ヲ指定シタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

前項ノ規定ハ第三條第一號ノ規定ニ依リ市町村長ニ於テ投票管理者ヲ指定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 府縣制第十六條ノ規定ハ開票立會人ニ、同法第十七條第一項及第二項ノ規定ハ開票所ニ、同法第二十二條、第二十五條、第二十六條及第二十八條ノ規定ハ開票所ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

第二章 府縣會議員ノ選舉運動及其ノ費用並ニ公立學校等ノ設備ノ使用

第十七條 選舉事務所ハ議員候補者一人ニ付選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一萬以上ナルトキハ三箇所ヲ、一萬未滿ナルトキハ二箇所ヲ超ユルコトヲ得ス

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉事務所ハ前項ノ規定ニ依ル數ヲ超エサル範圍内ニ於テ府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ス

府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ告示ア

リタル後直ニ前二項ノ規定ニ依ル選舉事務所ノ數ヲ告示スヘシ

第十八條 選舉委員及選舉事務員ハ議員候補者一人ニ付選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一萬以上ナルトキハ通シテ二十人ヲ、一萬未満ナルトキハ通シテ十五人ヲ超ユルコトヲ得ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ選舉委員及選舉事務員ニ之ヲ準用ス

第十九條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

三 府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第二十條 衆議院議員選舉法施行令第八章、第九章及第十二章ノ規定ハ府縣會議員ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第三章 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任
第二十一條 府縣出納吏其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財產ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府縣知事ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラサリシトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

第二十二條 府縣出納吏以外ノ吏員其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府縣知事ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ
第二十三條 前二條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府縣知事ハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ、府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

ヲ得

府縣制第三十八條及第二百二十八條ノ規定ハ本條ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス

第二十四條 賠償金ノ徵收ニ付テハ府縣制第一百十六條ノ例ニ依ル

第二十五條 府縣出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第四章 府縣費ノ分賦

第二十六條 府縣ハ臨時少額ノ費用ノ爲テ賦課徵收ヲ爲スヲ要スル場合ニ於テハ當該年度ノ府縣稅既定豫算額ノ十分ノ一ノ範圍内ニ於テ其ノ費用ヲ府縣内市町村ニ分賦スルコトヲ得

第二十七條 前條分賦ノ割合ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル市町村ノ直接國稅及直接府縣稅ノ賦課額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第二十八條 市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ市部ニ屬スル部分ニ賦課スヘキ額ヲ市ニ分賦スルコトヲ得

第二十九條 第二十七條ニ規定スル直接國稅及直接府縣稅ノ

種類左ノ如シ

國稅

地租 所得稅(所得稅法第三條第二種ニ係ル所得稅ヲ除ク、營業稅 營業收益稅 鑛業稅 砂鑛區稅 取引所營業稅 府縣稅

特別地稅 戶數割 家屋稅 營業稅 雜種稅(遊興稅及觀覽稅ヲ除ク)

第五章 府縣稅ノ賦課徵收

第三十條 府縣ノ内外ニ涉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業ニ付營業收益稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對スル營業收益稅附加稅ノ賦課ニ關シテハ府縣制第八條第一項ノ例ニ依ル

第三十一條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ

府縣ハ前項徵收ノ費用トシテ地租附加稅及特別地稅ニ對シテハ其ノ徵收金額ノ千分ノ七、其ノ他ノ府縣稅ニ對シテハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第三十二條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ税金納入義務ノ免除ヲ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

府縣知事前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ、府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコト
ヲ得

府縣制第三十八條及第二百二十八條ノ規定ハ本條ノ規定ノ適
用ニ付テハ準用ス

第三十三條 府縣稅ヲ徵收セントスルトキハ府縣知事又ハ其
ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ
市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納稅人
ニ交付スヘシ

府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ納稅人ニ
對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

府縣ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ限り前二
項ノ規定ニ依ラス其ノ府縣ニ於テ發行スル證紙ヲ以テ府縣
稅ヲ納入セシムルコトヲ得

第三十四條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ税金ヲ市町
村ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

徵稅令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ税金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ
其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス但シ府縣知事ハ市町村
吏員ヲシテ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發セシムル場合ニ於テ
ハ前項ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領
收證ヲ得テ税金納入ノ義務ヲ了ス

税金ノ拂込又ハ其ノ拂込金ノ納入ニ付郵便振替貯金ノ方法
ニ依リタル場合ニ於テハ納稅人又ハ市町村ハ税金ヲ郵便官
署ニ拂込ミ又ハ納入スルニ依リテ其ノ義務ヲ了ス

第三十五條 第三十三條第二項ノ規定ニ依リ市町村吏員ヲシ
テ徵稅令書ヲ發セシメタル場合ニ於テハ府縣知事ノ定ムル
所ニ依リ其ノ市町村ニ對シ取扱費ヲ交付スルコトヲ得

第三十六條 徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人期限
内ニ税金ヲ完納セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケ
タル官吏吏員ハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ニハ府縣知事ノ定メタル期間内ニ於テ相當ノ期限ヲ
指定スヘシ

第三十七條 督促狀ヲ發シタルトキハ手数料ヲ徵收ス
手数料ノ額ハ府縣知事ノ定ム

市町村吏員ヲシテ督促狀ヲ發セシメタル場合ニ於ケル手數
料ハ其ノ市町村ノ收入トス

第三十八條 市制町村制施行令第四十五條乃至第五十二條ノ
規定ハ府縣稅ノ賦課徵收ニ之ヲ準用ス

第三十九條 府縣ハ内務大臣及大藏大臣ノ指定シタル府縣稅
ニ付テハ第三十一條第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ徵收ノ便宜
ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ府縣稅ノ徵收ニ付テハ第三十三條ノ規定ニ依ラサル
コトヲ得

第四十條 前條第一項ノ規定ニ依リ府縣稅ヲ徵收セシムル場
合ニ於テハ納稅人ハ其ノ税金ヲ徵收義務者ニ拂込ムニ依リ
テ納稅ノ義務ヲ了ス

第四十一條 第三十九條第一項ノ規定ニ依リ徵收義務者ハ徵
收スヘキ府縣稅ヲ府縣知事ノ指定シタル期日迄ニ府縣金庫
又ハ郵便官署ニ拂込ムヘシ其ノ期日迄ニ拂込マサルトキハ
府縣知事ハ相當ノ期限ヲ指定シ督促狀ヲ發スヘシ

第四十二條 第三十一條第二項、第三十二條及第三十四條第
三項、第四項並ニ市制町村制施行令第四十五條乃至第四十
八條ノ規定ハ第三十九條第一項ノ規定ニ依リ府縣稅ヲ徵收
セシムル場合ノ拂込金ニ之ヲ準用ス

第四十三條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事ノ定ム

第四十四條 府縣稅ノ徵收ニ關スル細則ハ府縣知事ノ定ム

第四十五條 町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ
關シテハ本章ノ規定ヲ準用ス、其ノ準用シ難キ事項ハ府縣
知事ノ定ム

第六章 府縣ノ監督

第四十六條 府縣行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中
左ニ掲グルモノハ其ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

- 一 公會堂、公園、病院、試驗場、商品陳列所、倉庫、教
員養成所、產婆看護婦養成所、棧橋、墓地、火葬場、上
屋、荷揚場、繫船浮標、種畜、種畜場、用水其ノ他之ニ

類スルモノノ使用料ニ關スルコト

二 市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テ府縣ノ費用ヲ以
テ支辨スヘキ事件ニシテ其ノ市部ト郡部ト利益ノ程度ヲ
異ニシ均一ノ賦課ヲ爲シ難キ事情アルトキ其ノ費用ニ限
リ不均一ノ賦課ヲ爲スコト

三 支出總額五十萬圓以内ノ繼續費ニ關スルコト

四 繼續費ヲ減額スルコト

五 元本總額五十萬圓ニ達スル迄ノ府縣債ニ關スルコト

六 借入ノ翌年度ニ於テ償還スル府縣債ニ關スルコト但シ
借入金ヲ以テ償還スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

七 府縣債ノ借入額ヲ減少シ利息ノ定率ヲ低減スルコト

八 府縣債ノ借入先ヲ變更シ又ハ債券發行ノ方法ニ依ル府
縣債ヲ其ノ他ノ方法ニ依ル府縣債ニ變更スルコト

九 府縣債ノ償還年限ヲ短縮シ又ハ其ノ償還年限ヲ延長セ
スシテ低利借替ヲ爲シ若ハ繰上償還ヲ爲スコト但シ外資
ニ依リタル府縣債ノ借入又ハ外資ヲ以テスル借替ニ付テ
ハ此ノ限ニ在ラス

十 府縣債ノ償還年限ヲ延長セスシテ不均等償還ヲ元利均
等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更
スルコト

第七章 市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ノ行政ニ

關スル特例

第四十七條 從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於テハ内務大臣ハ其ノ區域ニ依リ市部及郡部ノ經濟ヲ分別シ市部會及市部參事會並ニ郡部會及郡部參事會ヲ設ケシムルコトヲ得

第四十八條 市部會及郡部會ハ各市部郡部ニ於テ選出シタル府縣會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

市部又ハ郡部ニ於テ選出スヘキ府縣會議員ノ數十二人ニ滿チサルトキハ府縣制第五條ノ定員ニ拘ラス之ヲ十二人トス

第四十九條 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府縣會ノ議決ヲ經ヘキモノト市部會又ハ郡部會ノ議決ヲ經ヘキモノトノ分別ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ府縣知事之ヲ定ム、許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第五十條 市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ名譽職參事會員ノ定員ヲ十二人トス

市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣ノ名譽職參事會員ハ各會ニ於テ其ノ定員ノ半數ヲ選舉ス

市部參事會及郡部參事會ハ議長及各部會ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十一條 府縣費ニ關スル市部及郡部ノ分擔及收入ノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ府縣知事之ヲ定ム、許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第五十二條 第四十九條及前條ノ事件ニ付テハ議員定員ノ五分ノ四以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十三條 市部及郡部ノ經濟ヲ分別スル府縣ノ行政ニ關シテハ本章ニ規定スルモノノ外府縣制ノ規定ヲ準用ス

第五十四條 市部會又ハ郡部會解散ヲ命セラレタルトキハ其ノ議員ハ府縣會議員ノ職ヲ失フ

第五十五條 二 市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣カ之ヲ廢シタル場合ニ於テハ其ノ際現ニ名譽職參事會員及其ノ補充員タル者ハ最近ノ改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ但シ各十人ノ定員ヲ超ユル員數ニ付テハ府縣知事抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員ノ補闕順位ハ府縣知事抽籤シテ之ヲ定ム

第八章 島嶼ニ於ケル府縣ノ行政ニ關スル特例

第五十五條 島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ分別スルコトヲ得

第五十六條 東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於ケル府稅ノ賦課及府會議員ノ選舉ニ關シテハ當分從前ノ例ニ依ル

第九章 雜則

第五十七條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合吏員ハ之ヲ町村吏員ト看做ス

ニ付セラレタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ府縣參事會ノ決定ニ付セラレサルモノ又ハ府縣參事會ノ決定ナキモノニ付テハ第三十二條第二項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令又ハ市制町村制施行令中公民權及議員選舉ニ關スル規定未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同令又ハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

府縣制施行規則

(大正十五年六月二十四日) (内務省令第十八號)

府縣制施行規則左ノ通定ム

府縣制施行規則

第一章 府縣會議員ノ選舉

第一條 府縣制第五條及本令第三條ニ規定スル人口ハ内閣ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ府縣、市、區、從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ノ境界ニ涉リテ市區町村ノ廢置分合、境界變更ヲ爲シタルトキ又ハ所屬未定地ヲ市區町村ノ區域ニ編入シタルトキハ府縣、從前郡長又ハ島司ノ管

附則

本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年勅令第二百二十七號

明治三十二年勅令第二百二十八號

明治三十二年勅令第二百八十五號

明治三十二年勅令第三百十六號

明治三十三年勅令第八十一號

府縣會議員選舉區分區令

大正十三年勅令第二百二十七號

從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

明治三十三年勅令第二百四十八號第二條ノ規定ニ依ル處分ニ關シ提起シタル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

明治三十三年勅令第二百四十八號第二條又ハ同年勅令第八十一號第三條ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ處分ニ對スル異議ノ申立期間又ハ訴願ノ提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

明治三十三年勅令第八十一號第二條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル申請又ハ同令第三條ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ決定

轄シタル區域ノ人口ハ左ノ區別ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依リ、市區ノ人口ハ市制町村制施行規則第一條第二項乃至第四項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル但シ市區町村ノ境界變更又ハ所屬未定地編入ノ區域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

一 從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ニ於テハ市制町村制施行規則第一條ノ規定ニ依ル町村ノ人口ヲ集計シタルモノ

二 府縣ニ在リテハ市制町村制施行規則第一條ノ規定ニ依ル市區町村ノ人口ヲ集計シタルモノ

前項ノ規定ハ市區町村ノ境界確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ノ人口中ニハ部隊艦船及監獄内ニ在リタル人員ヲ含マス

第二條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更アリタルトキハ前條第二項及第四項ノ例ニ依ル

第三條 府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ人口ニ比例シテ之ヲ定ムヘシ

第四條 新ニ市ヲ置キタル爲之ニ配當スヘキ府縣會議員ハ從前其ノ市ノ屬シタル選舉區ヨリ選出シタル議員ノ中ニ就キ府縣知事抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ市ニ住所ヲ有スル議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ市選出ノ議員トス若シ市ニ住所ヲ

有スル議員市ノ配當議員數ヨリ多キトキハ其ノ議員ノ中就キ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項中市トアルハ府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區トス

第五條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ議員候補者タルヘキ者ノ氏名、職業、住所及生年月日(推薦届出ノ場合ニ於テハ併セテ推薦届出者ノ氏名、住所及生年月日)ヲ記載シ且府縣制第十三條ノ三第一項ノ供託ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添付スヘシ

議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第六條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出アリタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住所地ノ市町村長ニ通知シ開票區アル場合ニ於テハ同時ニ議員候補者ノ氏名、職業、住所、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

開票區アル場合ニ於テハ選舉長ハ議員候補者ノ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ其ノ死亡シタルコトヲ知りタ

ルトキハ直ニ其ノ旨ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

第七條 議員候補者ノ届出若ハ推薦届出又ハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出ヲ受理シタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ受理ノ年月日時ヲ届出書ノ餘白ニ記載スヘシ

第八條 議員候補者選舉ノ期日前十一日迄ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ、選舉ノ期日ニ於ケル投票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ死亡シタルトキ若ハ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ選舉ノ全部無効ト爲リタルトキハ直ニ府縣制第十三條ノ三第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

議員候補者ノ得票數府縣制第十三條ノ三第二項ノ規定ニ該當セサルモノナルトキ又ハ議員候補者同法第二十九條ノ三ノ規定ノ適用ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ選舉及當選ノ效力確定後直ニ同法第十三條ノ三第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第九條 投票立會人ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ投票立會人ノ氏名、住所及生年月日ヲ記載シ且本人ノ承諾書ヲ添付スヘシ

第十條 投票管理者必要アリト認ムルトキハ投票所入場券及到著番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第十一條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲相當

ノ設備ヲ爲スヘシ

第十二條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第十三條 投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖スヘシ

第十四條 投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(又ハ選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シタル後投票用紙(假ニ投票ヲ爲サシムヘキ選舉人ニ對シテハ併セテ封筒)ヲ交付スヘシ

第十五條 選舉人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十七條 選舉人投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙(交付シタル封筒アルトキハ併セテ封筒)ヲ返付セシムヘシ

第十八條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘシ

第十九條 投票函ハ其ノ閉鎖後選舉長又ハ開票管理者ニ送致ノ爲ノ外之ヲ投票所外ニ搬出スルコトヲ得ス

第二十條 投票ニ關スル書類(選舉長又ハ開票管理者ニ送致シタルモノヲ除ク)ハ投票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ市町村長タル投票管理者ハ其ノ他ノ投票管理者ノ保存スヘキ書類ヲ併セテ保存スヘシ

第二十一條 府縣知事府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ投票管理者、開票管理者及選舉長ニ通知スヘシ

第二十二條 第九條ノ規定ハ開票立會人及選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第二十三條 投票ヲ點檢スルトキハ選舉長ハ選舉會ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムヘシ

第二十四條 前條ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第二十五條 前二條ノ規定ハ開票區ヲ設ケタル場合ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ自ら開票ヲ行ヒタル投票區ニ於ケル各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シタル後開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第二十六條 選舉長又ハ開票管理者ハ投票區毎ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ選舉立會人又ハ開票立會人ト共ニ封印ヲ施スヘシ

受理スヘカラスト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セス前項ノ例ニ依リ封印ヲ施スヘシ

第二十七條 開票管理者府縣制第二十五條第四項ノ規定ノ準用ニ依リ開票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第二十八條 點字投票ナル旨ノ印ハ投票用紙及封筒ノ表面ニ之ヲ捺捺スヘシ

第二十九條 立會人ノ届出書及之ニ添附スヘキ承諾書、議員候補者ノ届出書、議員候補者ノ推薦届出書、議員候補者タルコトヲ辭スルトコトノ届出書、投票録、選舉録、開票録及選舉運動ノ費用ノ精算届書ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

府縣制施行令第三條第二號ノ規定ニ依リ調製スル選舉人名簿ノ抄本ハ市制町村制施行規則記ニ定ムル様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十章 府縣ノ財務

第三十條 府縣稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第三十一條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三十二條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
二 定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲テ納期ヲ定メタル收入、又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ令書又ハ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ府縣債、補助金、寄附金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第三十三條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一 費用辨償、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
三 府縣債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル

年度

五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
六 前各號ニ掲ケルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第三十四條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ

第三十五條 府縣稅ハ徵稅令書、徵稅傳令書ニ依リ夫役現品ハ賦課令書ニ依リ負擔金、使用料、手數料、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收シ其ノ他ノ收入ハ納付書ニ依リ收入スヘシ但シ府縣制施行令第三十三條第三項又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ徵收スル府縣稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役並ニ納額告知書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 支出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 左ノ經費ニ付テハ府縣ノ官吏吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏吏員ニ前渡スルコトヲ得
一 府縣債ノ元利支拂
二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費
三 遠隔ノ地又ハ交通不便ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費
特別ノ必要アルトキハ前項ノ資金前渡ハ府縣ノ官吏吏員以

外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 前二條ニ掲クルモノノ外必要アルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ資金前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第四十條 前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 歳入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フヘシ

歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、資金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第四十二條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スヘシ、前條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第四十三條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得

第四十四條 歳入歳出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ別チ且各部ヲ款項ニ區分スヘシ

第四十五條 歳入歳出豫算ニハ各項ヲ各目ニ區分シ其ノ豫算ノ基ク所ヲ詳記シタル豫算説明ヲ附スヘシ

第四十六條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調

製スヘシ

第四十七條 府縣歳入歳出豫算ハ別記府縣歳入歳出豫算様式ノ一ニ依リ之ヲ調製スヘシ

府縣制第四百十條ノ府縣ニ於テハ府縣歳入歳出豫算ハ別記府縣歳入歳出豫算様式ノ二ニ依リ、其ノ市部又ハ郡部限リノ豫算ハ別記府縣歳入歳出豫算様式ノ三ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四十八條 繼續費ノ年期及支出方法ハ別記繼續費ノ年期及支出方法様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四十九條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第五十條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

豫算各項ノ金額ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得但シ機密費ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 府縣ノ收入支出ニシテ命令ヲ發スルヲ要スルモノハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員其ノ他ノ職員ニ於テ之ヲ發ス

第五十二條 府縣ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第五十三條 府縣ノ出納ニ關スル事項ハ會計年度經過後三月以內ニ之ヲ完整スヘシ

第五十四條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ附スヘシ

第五十五條 會計年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第五十六條 府縣出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ府縣知事ニ於テ検査員ヲ命シ少クトモ毎年度一回之ヲ検査セシムヘシ

府縣出納吏ニ異動アリタルトキハ府縣知事ハ検査員ヲシテ現金及帳簿ヲ検査セシムヘシ

第五十七條 府縣ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲府縣金庫ヲ置ク

第五十八條 府縣金庫ハ府縣本金庫府縣支金庫トス

府縣本金庫ハ府縣廳所在地ニ之ヲ置キ府縣支金庫ハ府縣知事ニ於テ必要ト認ムル地ニ之ヲ置ク

第五十九條 府縣本金庫ハ府縣支金庫ヲ總轄ス

第六十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ府縣知事ニ之ヲ定ム

金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ許可ヲ得其ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其ノ他ノ者ヲシテ金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第六十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付府

第七類 地方制度、財務 第一編 地方制度

縣ニ對シ責任ヲ有ス

第六十一條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ擔保ヲ提出スヘシ

第六十二條 府縣知事ハ豫算ニ屬スル現金ヲ支出ニ妨ケナキ限度ニ於テ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ニ運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ府縣ニ納付スヘシ

第六十三條 府縣知事ハ府縣金庫ヲ監督シ検査員ヲシテ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査セシメ又必要アリト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十四條 本章ニ規定スルモノノ外必要ナル規定ハ府縣知事ニ之ヲ定ム

第三章 雜則

第六十五條 府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ本令第六條第一項、第二項及第二十條中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ之ヲ適用ス

第六十六條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

附則

本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其

ノ他ノ規定ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ施行ス
左ノ内務省令ハ之ヲ廢止ス

明治二十四年内務省令第十二號

明治三十二年内務省令第六號

明治三十二年内務省令第二十九號

明治三十三年内務省令第七號

大正三年内務省令第十號

大正三年内務省令第十一號

大正十一年内務省令第十五號

從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス
本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際市制町村制施行規則中議員選舉ニ關スル規定未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

(別記)
立會人ノ届出書様式
投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)届
立會人 氏 名
住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地
生年月日 何年何月何日

選舉 大正何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉
右別紙本人ノ承諾書相添届出候也
大正何年何月何日

議員候補者 氏 名印

投票管理者(開票管理者)(選舉長)氏名宛

立會人ノ届出書ニ添附スヘキ承諾書様式

投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)承諾書

大正何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉ニ於ケル投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)タルコトヲ承諾候也

大正何年何月何日

何府(縣)何市(何郡何町(村))
大字何(町)何番地

議員候補者 氏 名宛 氏 名印

議員候補者ノ届出書様式

府(縣)會議員候補者届

議員候補者 氏 名

職 業 何々(官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ル可ク
明細ニ記載スルコト)

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

生年月日 何年何月何日

選舉 大正何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉
右別紙供託ヲ證スヘキ書面相添立候補届出候也
大正何年何月何日

選舉長 氏 名宛 氏 名印

議員候補者ノ推薦届出書様式

府(縣)會議員候補者推薦届

議員候補者 氏 名

職 業 何々(官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ル可ク
明細ニ記載スルコト)

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

生年月日 何年何月何日

選舉 大正何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉

推薦届出者 氏 名

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

生年月日 何年何月何日

(推薦届出者) (氏 名)

(住 所) 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

(生年月日) (何年何月何日)

右別紙供託ヲ證スヘキ書面相添推薦届出候也
大正何年何月何日

選舉長 氏 名宛 氏 名印

議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書様式

府(縣)會議員候補者辭退届

議員候補者 氏 名

事 由 大正何年何月何日何々ノ爲被選舉權ヲ有セサルニ至リタリ

右辭退届出候也

大正何年何月何日

議員候補者 氏 名印

選舉長 氏 名宛

備考

事由ハ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ限り記載スヘシ

投票錄様式

大正何年何月何日執行ノ府(縣)何市(何郡何町(村))府(縣)會議員(何)投票所投票錄

一 投票所ハ何市役所(何町(村)役場)(何ノ場所)ニ之ヲ設

二 左ノ投票立會人ハ何レモ投票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ投票所ニ參會シタリ

住所氏名

投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ投票立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住所氏名

三 投票所ハ大正何年何月何日午前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ

住所氏名

四 投票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住所氏名

五 投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先チ投票所ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ投票管理者及投票立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

住所氏名

六 投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シタル後(到著番號札ト引換ニ)投票用紙ヲ交付シタリ

七 選舉人ハ自ら投票ヲ認メ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲ投函シタリ

八 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定裁決書(判決書)ヲ所持シ投票所ニ到リタルニ依リ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

九 左ノ選舉人ハ點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル旨ヲ申立タルヲ以テ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ捺シテ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

十 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否シタリ

住所氏名

十一 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否スヘキ旨決定シタルモ同選舉人ニ於テ不服ヲ申立テタルヲ以テ(投票立會人氏名ニ於テ異議アリシヲ以テ)投票用紙ト共ニ封筒ヲ交付シ假ニ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

十二 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ點字投票ヲ拒否シタリ

住所氏名

十三 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ點字投票ヲ拒否スヘキ旨決定シタルモ同選舉人ニ於テ不服ヲ申立テタルヲ以テ(投票立會人氏名ニ於テ異議アリシヲ以テ)投票用紙及封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ捺シテ交付シ假ニ點字投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

十四 投票管理者ハ投票所外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人

住所氏名

十五 午前(午後)何時ニ至リ投票管理者ハ投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタル旨ヲ告ケ投票所ノ入口ヲ鎖シタリ

住所氏名

十六 午前(午後)何時投票所ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

住所氏名

十七 投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ左ノ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管ス

住所氏名

十八 投票ヲ爲シタル選舉人ノ總數

住所氏名

十九 選舉人名簿ニ登録セラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲シタル者

住所氏名

二十 確定裁決書(判決書)ニ依リ投票ヲ爲シタル者

住所氏名

二十一 投票所外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人

住所氏名

二十二 投票管理者ハ投票所外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人

住所氏名

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數 何人

内

假ニ投票ヲ爲サシメタル者

何人

十九 投票函、投票録及選舉人名簿ヲ選舉長(開票管理者)

ニ送致スヘキ投票立會人左ノ如シ

氏 名

二十 午前(午後)何時投票所ノ事務ヲ結了シタリ

二十一 左ノ者ハ投票所ノ事務ニ從事シタリ

職 氏 名

二十二 投票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

官 職 氏 名

投票管理者ハ此ノ投票録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上投票立會人ト共ニ茲ニ署名ス

大正何年何月何日

投票管理者

職 氏 名

投票立會人

氏 氏 氏 名

備考

様式ニ掲クル事項ノ外投票管理者ニ於テ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

選舉錄様式ノ一

大正何年何月何日 行何府(縣)何郡(市)府(縣)會議員選舉

執 會選舉錄

一 選舉會ハ何市役所(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ選舉立會人ハ何レモ選舉會ヲ開クヘキ時刻迄ニ選舉會ニ參會シタリ

住 所 氏 名

住 所 氏 名

住 所 氏 名

選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選舉立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住 所 氏 名

三 大正何年何月何日選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ翌何日(當日)午前(午後)何時ニ選舉會ヲ開キタリ

四 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於

ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住 所 氏 名

五 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シタルニ左ノ如シ

投票總數 何 票

投票人總數 何 人

外

假ニ爲シタル投票數 何 票

假ニ爲シタル投票人總數 何 人

右投票區別内譯左ノ如シ

何町(村)投票區(何市何投票區)

投票數 何 票

投票人總數 何 人

外

假ニ爲シタル投票數 何 票

假ニ爲シタル投票人總數 何 人

投票數ト投票人總數ト符合ス(投票數ト投票人總數ト符合セス即チ投票數ハ投票人總數ニ比シ何票多シ(少シ)

(其ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載スヘシ)

何町(村)投票區(何市何投票區)

六 投票管理者ヨリ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住 所 氏 名

住 所 氏 名

住 所 氏 名

選舉長ハ右ノ投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ左ノ通之ヲ決定セリ

受理セシモノ

一事由何々 住 所 氏 名

一事由何々 住 所 氏 名

受理セサリシモノ

一事由何々 住 所 氏 名

一事由何々 住 所 氏 名

七 選舉長ハ投票區毎ニ(假ニ爲シタル投票ニシテ受理スヘキモノト決定シタル投票ノ封筒ヲ開披シタル上)總テノ投票ヲ混同シ選舉立會人ト共ニ之ヲ點檢シタリ

八 選舉會ノ事務ニ從事スル官職氏名及官職氏名ノ二人ハ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算シタリ

九 選舉長ニ於テ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ有效又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ

一有效ト決定シタルモノ 何 票

一無効ト決定シタルモノ 何 票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
何票

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタル者
何票

三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
一 有效ト決定シタルモノ
何票

一 無效ト決定シタルモノ
何票

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
何票

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
何票

三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

十 午前(午後)何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ選舉長ハ
投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ其ノ
得票總數ヲ朗讀シタル

十一 各議員候補者ノ得票總數左ノ如シ

何票
何町(村)投票區(何市何投票區)
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
何票

何票
何町(村)投票區(何市何投票區)
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
何票

十二 選舉長ハ投票區毎ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效及
受理スヘカラスト決定シタル投票ヲ大別シ尙有效ノ
決定アリタル投票ニ在リテハ得票者毎ニ之ヲ區別シ
無効ノ決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シ各之
ヲ一括シ更ニ有效無効及受理スヘカラスト決定シタル
投票別ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印ヲ
施シタル

十三 大正何年何月何日總テノ開票管理者ヨリ府縣制施行
令第九條ノ報告ヲ受ケタルヲ以テ其ノ當日(翌何日)
選舉立會人立會ノ上逐次其ノ報告ヲ調査シ自ラ開票
ヲ行ヒタル部分ニ付各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ
タル後開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終
リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀シタル

十四 各議員候補者ノ得票總數左ノ如シ

給ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何
年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ
以テ當選者ト定メタリ(同年月日ナルヲ以テ選舉
長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以
テ當選者ト定メタリ)

十六 選舉區ノ配當議員數何人ヲ以テ有效投票ノ總數何票
ヲ除シテ得タル數ハ何票ニシテ此ノ十分ノ一ノ數ハ
何票ナリ

議員候補者中其ノ得票數此ノ數ニ達セサル者左ノ如
シ

何票
何票

十七 午前(午後)何時選舉會ノ事務ヲ結了シタル

十八 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタル
官職氏名
官職氏名

十九 選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ
官職氏名

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト
共ニ茲ニ署名ス
大正何年何月何日

選舉長

一八九

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
何票

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタル者
何票

三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
一 有效ト決定シタルモノ
何票

一 無效ト決定シタルモノ
何票

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
何票

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
何票

三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

何町(村)投票區(何市何投票區)
一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
何票

十 午前(午後)何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ選舉長ハ
投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ其ノ
得票總數ヲ朗讀シタル

十一 各議員候補者ノ得票總數左ノ如シ

給ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何
年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ
以テ當選者ト定メタリ(同年月日ナルヲ以テ選舉
長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以
テ當選者ト定メタリ)

十六 選舉區ノ配當議員數何人ヲ以テ有效投票ノ總數何票
ヲ除シテ得タル數ハ何票ニシテ此ノ十分ノ一ノ數ハ
何票ナリ

議員候補者中其ノ得票數此ノ數ニ達セサル者左ノ如
シ

何票
何票

十七 午前(午後)何時選舉會ノ事務ヲ結了シタル

十八 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタル
官職氏名
官職氏名

十九 選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ
官職氏名

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト
共ニ茲ニ署名ス
大正何年何月何日

選舉長

一八九

官職 氏 名
選舉立會人

氏 名
氏 名
氏 名

備考

様式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉會ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

選舉錄様式ノ二

大正何年何月何日 何府(縣)何郡(市)府(縣)會議員選舉會選舉錄

一 選舉會場ハ何市役所(何ノ場所ニ)之ヲ設ケタリ

二 左ノ選舉立會人ハ何レモ選舉會ヲ開クヘキ時刻迄ニ選舉會ニ參會シタリ

住所 氏 名
住所 氏 名

選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選舉立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏 名

三 届出アリタル議員候補者ノ數何人ニシテ選舉スヘキ議員ノ數何人ヲ超エサル爲投票ヲ行ハサルコト大正何年何月何日確定シタルヲ以テ大正何年何月何日午前(午後)何時ニ選舉會ヲ開キタリ

四 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏 名

五 届出アリタル議員候補者ノ氏名左ノ如シ

住所 氏 名
住所 氏 名
住所 氏 名

六 選舉長ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ヲ決定シタリ

住所 氏 名
住所 氏 名

七 選舉スヘキ議員ノ數何人ニシテ被選舉權有リト決定シ無シト決定シタル者

住所 氏 名
住所 氏 名

官職 氏 名
選舉立會人

氏 名
氏 名
氏 名

備考

様式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉會ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

選舉錄様式ノ一

大正何年何月何日 何府(縣)何郡(市)府(縣)會議員選舉會選舉錄

一 選舉會場ハ何市役所(何ノ場所ニ)之ヲ設ケタリ

二 左ノ選舉立會人ハ何レモ選舉會ヲ開クヘキ時刻迄ニ選舉會ニ參會シタリ

住所 氏 名
住所 氏 名

選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選舉立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏 名

備考

様式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉會ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ